

平成26年

鹿児島県の観光の動向

～鹿児島県観光統計～



平成27年10月



鹿児島県観光交流局観光課

目 次

「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方	P 3
---------------------------	-----

■ 平成 26 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(概要)

1 延べ宿泊者数・延べ日帰り客数	P 10
2 外国人延べ宿泊者数	P 10
3 観光消費額	P 11

■ 平成 26 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(詳細)

1 宿泊者数	
(1) 月別延べ宿泊者数	P 16
(2) 発地別県外延べ宿泊者数	P 17
(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数	P 18
(4) 外国人延べ宿泊者数	P 19
2 日帰り客数	
(1) 四半期別延べ日帰り客数	P 21
3 観光消費額	
(1) 四半期別観光消費額	P 22
4 地区別の動向	
(1) 地区別延べ宿泊者数	P 23
(2) 地区別延べ日帰り客数	P 33
(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数	P 34
(4) 地区別外国人延べ宿泊者数	P 35

■ 参考資料

1 全国における宿泊者の動向	
(1) 月別延べ宿泊者数(平成 26 年)	P 38
(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 26 年)	P 38
(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 26 年)	P 38
2 九州における宿泊者の動向	
(1) 九州各県別延べ宿泊者数	P 39
(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数	P 40
3 鹿児島県観光動向調査	
(1) 月別の宿泊客数	P 41
(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数	P 41
(3) 旅行形態別延べ宿泊客数	P 42
(4) 月別旅行形態の動向	P 43
4 教育旅行の受入状況	
(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況(推移)	P 44
(2) 月別の教育旅行の受入状況(平成 25 年～26 年)	P 44
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況(平成 25 年～26 年)	P 45
(4) 学校種別の構成比(平成 26 年)	P 45
5 スポーツ合宿の受入状況	
(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況(推移)	P 46
(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況(平成 25 年度～26 年度)	P 46

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況	P 4 7
(4) 発地別の状況	P 4 7
(5) 交通手段の状況	P 4 8
(6) 競技種目の状況	P 4 8
6 コンベンションの開催状況	P 4 9
7 国際観光船受入状況	
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況	P 5 0
(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況	P 5 1

鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方

この「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」は、平成26年（1月～12月）1年間の宿泊者（延べ宿泊者数）、日帰り客（延べ日帰り客数）及び外国人宿泊者（外国人延べ宿泊者数）の動向等について、「宿泊旅行統計」（観光庁）※注1、「観光入込客統計」（観光庁）※注2、「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）※注3の統計結果や、県内各市町村、関係機関等の御協力を得て実施した観光地点入込状況、交通機関利用状況等の調査をとりまとめたものである。

※ 注1「宿泊旅行統計」（観光庁）

（1）調査の目的

宿泊旅行統計調査は、我が国の宿泊旅行の実態を全国規模で把握することを目的とする。

（2）調査の対象

日本国内において宿泊業を営む、ホテル、旅館、簡易宿所、会社、団体の宿泊所などの全宿泊施設である。

なお、事業所母集団データベース（総務省）をもとに観光庁で補正を加えた母集団名簿により調査を行った。

【鹿児島県内の対象施設数】※平成26年12月時点

鹿児島県内の対象施設数	1,249施設
従業員数10人以上の宿泊施設数	234施設
従業員数9人以下の宿泊施設数	1,015施設

（3）調査の時期

四半期毎

（4）抽出方法

調査対象施設の抽出については以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所：全数調査
- 従業者数5人～9人の事業所：1/3を無作為に抽出するサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所：1/9を無作為に抽出するサンプル調査

（5）主な調査事項

- 各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数
- 各月の延べ宿泊者数の居住地別内訳（県内、県外の別）
- 各月の外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳

（6）調査の方法

調査は、観光庁から調査対象施設へ調査票を配布し、報告者（調査対象施設）が自ら調査票に記入し返送する方法で実施した。

また、調査の実施、審査・集計等については民間に委託して実施した。

(7) 結果の推定方法

調査の未回収分については、調査結果に施設所在地（47 区分）×従業者数（5 区分）の層ごとに母集団施設数に対する回収施設の逆数（母集団施設／回収施設数）を乗じて合算した。

なお、平成 26 年の調査を通じて 1 年間、標本の総和が 1,000 人泊（人）以上になる結果表セルにおいて 50%以上のシェアを占める標本については、別途層を設け、乗率 $Nh/nh=1$ とした。

以上より、統計の推定値は次の式で表される。

$$G = \sum_h \frac{N_h}{n_h} \sum_i x_{hi}$$

G : 総計（延べ宿泊者数等）の推定値

x_{hi} : 第 h 層の第 i 番目の施設の調査結果（延べ宿泊者数等）

n_h : 第 h 層の標本（回収）施設数

N_h : 第 h 層の母集団施設数

また、四半期毎（1 月～3 月調査、4 月～6 月調査、7 月～9 月調査、10 月～12 月調査）の調査結果を、平成 27 年 1 月 1 日時点で把握した平成 26 年中の調査対象施設の開業、廃業等施設数を反映させ、各月毎の調査対象施設数により、遡及して推計し直した。

(8) 用語の解説

「宿泊施設」

旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいう。

「従業者数」

従業者とは、当該宿泊施設で働いているすべての人をいう（実人員数）。派遣労働者、在籍出向など出向元に籍がありながら当該施設に来て働いている人、下請けとして他の会社など別経営の事業所から来て働いている人を含む。なお、宿泊施設以外の施設（遊園地、ゴルフ場、スキー場、プール等）を併設している場合で、会計上も宿泊施設営業と他の事業に分けている場合は宿泊施設営業に従事している人のみとした。

「延べ宿泊者数」

延べ宿泊者数とは、各月における宿泊者（寝具を使用して施設を利用するもの。子供や乳児を含む。）の延べ人数をいう。

「外国人延べ宿泊者数」

外国人延べ宿泊者数とは、各月における外国人（日本国内に住所を有しないもの）の宿泊者の延べ人数をいう。ただし、日本国内の住所の有無による回答が困難な施設は、日本の国籍を有しないものを外国人宿泊者として回答しても差し支えないこととした。

※ 注 2 「観光入込客統計」（観光庁）

（１）調査の目的

観光庁では、地域間で観光に関する現状や動向を全国的に比較できるようにしつつ、観光振興に資するため、平成 21 年 12 月に観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定した。

本県では、平成 22 年 4 月から当該基準を導入した調査を実施し、結果を観光庁に報告している。

（２）調査の時期

四半期毎

（３）調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査する。

②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査する。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

（４）集計・公表する項目

- 観光地点を訪れた観光入込客数
- 観光地点を訪れた観光入込客一人当たりの平均消費額
- 観光地点を訪れた観光入込客の総消費額

（５）用語の解説

「観光地点」

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設等を意味し、次に掲げる要件を全て満たすものを集計の対象としている。

- ① 非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。

「観光入込客」

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本基準では観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客としている。

※ 注 3 「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）

（1）調査の目的

本県では最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、一般の各観光関係者のビジネスや効果的な事業展開等広く民間の活用に資するため、平成 19 年 4 月から県内の主要宿泊施設、観光施設等を対象として、宿泊の入込状況についてアンケート調査を実施している。

（2）調査の時期

毎月

（3）調査の対象

- ① ホテル・旅館 85 施設
 - ② 観光施設 18 施設
 - ③ ドライブイン 5 施設
- ※平成 26 年 12 月時点

（4）調査方法及び留意事項

毎月、対象施設に調査票を送付し、調査結果を取りまとめている。
調査対象施設については、新たに建設されたものなどを追加している。

（5）主な調査事項

〈宿泊施設〉

- 延べ宿泊客数（全宿泊客数、外国人宿泊客数）
- 宿泊形態（団体、個人旅行の別）
- 発地別宿泊客数 等

〈観光施設・ドライブイン〉

- 入場者、来場者数 等

（6）「発地別県外延べ宿泊者数」の発地区分内訳

地区	該当都道府県等			
北海道	北海道			
東北	青森 秋田	岩手 山形	宮城	福島
関東	茨城 千葉	栃木 東京	群馬 神奈川	埼玉 山梨
北陸	新潟	福井	富山	石川
中部	静岡	愛知	岐阜	長野
関西	滋賀 兵庫	京都 三重	大阪 和歌山	奈良
中国	鳥取 山口	島根	岡山	広島
四国	徳島	香川	愛媛	高知
九州	福岡 大分	佐賀 宮崎	長崎	熊本
沖縄	沖縄			
国外	日本以外の全ての国			

1 地区別延べ宿泊者数の推定の方法

地区別の宿泊者数については、県が観光庁から宿泊旅行統計調査の調査票情報（鹿児島県内の宿泊施設分）の提供を受け、施設所在地区別に推定を行った。

「地区別延べ宿泊者数」等の施設所在地区別の内訳

地区名	該当市町村			
鹿児島地区	鹿児島市			
指宿地区	指宿市			
霧島地区	霧島市			
北薩地区	阿久根市 長島町	薩摩川内市	出水市	さつま町
大隅地区	鹿屋市	垂水市	曾於市	志布志市
	大崎町	東串良町	錦江町	南大隅町
	肝付町			
種子島地区	西之表市	中種子町	南種子町	
屋久島地区	屋久島町			
奄美地区	奄美市	大和村	宇検村	瀬戸内町
	龍郷町	喜界町	徳之島町	天城町
	伊仙町	和泊町	知名町	与論町
その他地区	枕崎市	日置市	いちき串木野市	南さつま市
	南九州市	伊佐市	始良市	湧水町
	三島村	十島村		

2 地区別延べ日帰り客数の推定の方法

地区別の日帰り客数については、県が観光庁に報告する調査票情報を用いて施設所在地区別に推定を行った。

※施設所在地区別の内訳については上表と同じ

3 日帰り客の延べ人数の推定の方法

日帰り客数について観光庁は、観光地点を訪れた観光入込客数（延べ人数）を平均訪問地点数で割った、観光入込客数（実人数）で公表しているが、本統計においては、平均訪問地点数で割る前の延べ人数を用いた。

※「延べ人数」と「実人数」の違い

「実人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回分と数えることとなる。

「延べ人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の3つの観光地点を訪れたとしたら、3回分と数えることとなる。

4 発地別県外延べ宿泊者数について

発地別県外延べ宿泊者数については、「鹿児島県観光動向調査」のデータを用いた。

5 交通機関別県外延べ宿泊者数について

観光庁「宿泊旅行統計」の県外延べ宿泊者数をベースとして、鉄道、バス、航空、船舶事業者及び高速道路事業者の協力により得られたデータをもとに、県が交通機関別に推定を行った。

平成 26 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(概要)

平成26年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の概要

- ・「延べ宿泊者数」は7,534千人で、前年比2.9%の増加
- ・「延べ日帰り客数」は13,332千人で、前年比1.1%の増加
- ・「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計は20,866千人で、前年比1.8%の増加
- ・「外国人延べ宿泊者数」は266,000人で、前年比23.8%の増加
- ・「観光消費額」は2,627億円で、前年比6.8%の増加

1 延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】・延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 平成26年の鹿児島県内の宿泊施設の延べ宿泊者数は7,534,490人で、前年比2.9%の増加となった。これは、九州新幹線の利用客数が高い水準を維持していることや、九州新幹線みずほが1日5往復から6往復になったこと、平成26年3月30日に鹿児島―香港線就航や平成26年7月1日にLCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の奄美大島―成田線就航など本県への交通アクセスが向上したことにより、宿泊客が増加したと考えられる。

■ 平成26年の鹿児島県内の観光地点における観光目的の日帰り客数は13,332,000人で、前年比1.1%の増加となった。これは、九州新幹線の利用者数が高い水準を維持していることもあり、県外からの利便性が高いことなどが要因と考えられる。

		(人)			
		平成26年		平成25年	
延べ宿泊者数 (1～12月分)	7,534,490		7,322,530		前年比(増減率)
	県外	県内	県外	県内	県外 県内
	5,280,060	2,155,620	5,145,650	2,061,060	2.6% 4.6%
延べ日帰り客数 (1～12月分)	13,332,000		13,183,000		1.1%
	県外	県内	県外	県内	県外 県内
	1,950,000	11,382,000	1,821,000	11,362,000	7.1% 0.2%
合計	20,866,490		20,505,530		1.8%
	県外	県内	県外	県内	県外 県内
	7,230,060	13,537,620	6,966,650	13,423,060	3.8% 0.9%

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

2 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

■ 平成26年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は266,000人であり、前年比23.8%の増加となった。

これは、平成26年3月30日の鹿児島―香港線就航に伴う、香港からの観光客が増加したことなどが要因と考えられる。

		(人)
外国人延べ宿泊者数		前年比(増減率)
平成26年	266,000	23.8%
(平成25年)	(214,810)	

※ 全宿泊施設が調査対象

		国籍別外国人延べ宿泊客数		(人)	
		平成26年	構成比	前年比(増減率)	平成25年
韓国		48,930	19.4%	9.0%	44,910
台湾		98,400	39.0%	30.4%	75,470
中国		23,250	9.2%	95.7%	11,880
香港		28,660	11.4%	142.7%	11,810
米国		9,710	3.8%	10.8%	8,760
シンガポール		6,420	2.5%	35.2%	4,750
タイ		2,810	1.1%	31.9%	2,130
その他		34,150	13.5%	27.0%	26,890
合計		252,330	100%	35.2%	186,600

※従業者数10人以上の施設が調査対象

※その他には国籍(出身地)不詳を含む

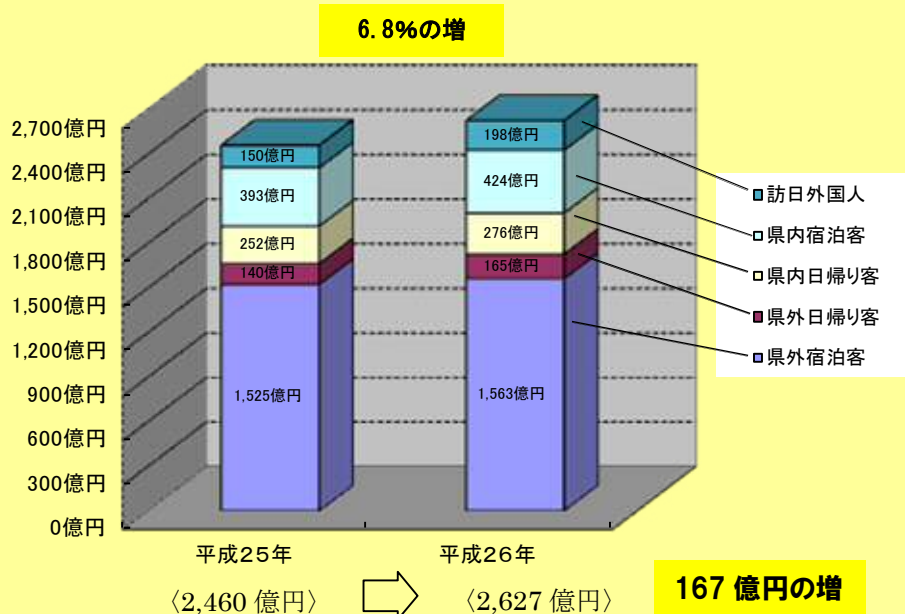
3 観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 観光目的の観光入込客の観光消費額は262,690百万円で、6.8%の増加となった。

(百万円)							
		平成26年		平成25年		前年比(増減率)	
日本人	宿泊	198,726		191,796		3.6%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		156,340	42,386	152,513	39,283	2.5%	7.9%
	日帰り	44,120		39,223		12.5%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		16,491	27,629	14,057	25,166	17.3%	9.8%
訪日外国人		19,844		15,024		32.1%	
合計		262,690		246,043		6.8%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		192,675	70,015	181,594	64,449	6.1%	8.6%

【参考 観光消費額単価】					(円)	
		平成26年		平成25年		
日本人	宿泊	32,744		32,453		
		県外	県内	県外	県内	
		38,451	21,161	38,827	19,820	
	日帰り	4,123		3,733		
		県外	県内	県外	県内	
8,832		3,128	8,836	2,821		
訪日外国人		91,870		91,055		

■ 観光消費額の前年との比較



○ 参考

1 延べ宿泊者数

	平成22年 ※1		平成23年 前年比(増減率)		平成24年 前年比(増減率)		平成25年 前年比(増減率)		平成26年 前年比(増減率)	
延べ宿泊者数	6,105,360		6,795,810	5.6%	6,870,930	1.1%	7,322,530	6.6%	7,534,490	2.9%
	県外 4,209,690	県内 1,779,890	県外 4,747,660	県内 1,990,550	県外 4,753,990	県内 1,990,650	県外 5,145,650	県内 2,061,060	県外 5,280,060	県内 2,155,620
延べ日帰り客数	10,718,000		13,691,000	2.8%	13,346,000	-2.5%	13,183,000	-1.2%	13,332,000	1.1%
	県外 2,521,000	県内 8,197,000	県外 2,754,000	県内 10,937,000	県外 3,342,000	県内 10,004,000	県外 1,821,000	県内 11,362,000	県外 1,950,000	県内 11,382,000
合計	16,823,360		20,486,810	3.8%	20,216,930	-1.3%	20,505,530	1.4%	20,866,490	1.8%
	県外 6,730,690	県内 9,976,890	県外 7,501,660	県内 12,927,550	県外 8,095,990	県内 11,994,650	県外 6,966,650	県内 13,423,060	県外 7,230,060	県内 13,537,620

(注) 居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

※1 平成22年の数値について

① 延べ宿泊者数

1～3月については、従業員数9人以下の宿泊施設の宿泊者数を含まない(観光庁「宿泊旅行統計」では、平成22年4月以降の調査から、従業員数9人以下の宿泊施設を対象に加えており、平成22年1～3月は数値がないため)。

② 延べ日帰り客数

4～12月の数値(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月からの開始であり、平成22年3月以前の数値がないため)

※2 平成22年と平成23年の比較について

平成22年と条件を揃えて比較した場合… 延べ宿泊客数: 6,446,120人(1～3月において、従業員数9人以下の宿泊施設の宿泊者数を含まない)

… 延べ日帰り客数: 11,019,000人(4～12月の数値)

2 外国人延べ宿泊者数

	平成22年 ※	平成23年 前年比(増減率)	平成24年 前年比(増減率)	平成25年 前年比(増減率)	平成26年 前年比(増減率)
外国人延べ宿泊者数	129,100	92,890 -28.0%	170,570 83.6%	214,810 25.9%	266,000 23.8%

(注) 全宿泊施設が対象。

※ 平成22年については、1～3月における従業員数9人以下の宿泊施設の宿泊者数を含まない(観光庁「宿泊旅行統計」では、平成22年4月以降の調査から、従業員数9人以下の宿泊施設を対象に加えており、平成22年1～3月は数値がないため)。

<国籍別外国人延べ宿泊者数>

	平成22年	平成23年 前年比(増減率)	平成24年 前年比(増減率)	平成25年 前年比(増減率)	平成26年 前年比(増減率)
韓国	60,620	35,520 -41.4%	45,370 27.7%	44,910 -1.0%	48,930 9.0%
台湾	21,670	14,630 -32.5%	45,240 209.2%	75,470 66.8%	98,400 30.4%
中国	8,220	6,890 -16.2%	10,820 57.0%	11,880 9.8%	23,250 95.7%
香港	4,930	4,900 -0.6%	9,920 102.4%	11,810 19.1%	28,660 142.7%
米国	7,360	4,070 -44.7%	6,170 51.6%	8,760 42.0%	9,710 10.8%
シンガポール	2,860	1,750 -38.8%	3,230 84.6%	4,750 47.1%	6,420 35.2%
タイ	470	690 46.8%	980 42.0%	2,130 117.3%	2,810 31.9%
その他	19,870	16,830 -15.3%	16,390 -2.6%	26,890 64.1%	34,150 27.0%
合計	126,000	85,280 -32.3%	138,120 62.0%	186,600 35.1%	252,330 35.2%

※従業員数10人以上の施設が調査対象

※その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額

(百万円)

		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年									
		※1																	
				前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)									
日本人	宿泊	98,990		178,336		80.2%		200,560		12.5%		191,796		-4.4%		198,726		3.6%	
		県外	県内	県外	県内			県外	県内			県外	県内			県外	県内		
		85,887	13,103	155,440	22,896	※2		161,971	38,589			152,513	39,283			156,340	42,386		
	日帰り	37,083		45,086		21.6%		38,130		-15.4%		39,223		2.9%		44,120		12.5%	
		県外	県内	県外	県内			県外	県内			県外	県内			県外	県内		
		13,287	23,796	19,680	25,406	※2		17,575	20,555			14,057	25,166			16,419	27,629		
訪日外国人		6,693		4,681		-30.1% ※2		14,112		201.5%		15,024		6.5%		19,844		32.1%	
合計		142,766		228,103		59.8%		252,802		10.8%		246,043		-2.7%		262,690		6.8%	
		県外	県内	県外	県内			県外	県内			県外	県内			県外	県内		
		105,867	36,899	179,801	48,302	※2		193,658	59,144			181,594	64,449			192,675	70,015		

※1 平成22年の数値について

平成22年4～12月の数値(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月から開始されており、平成22年3月以前の数値はないため)。

※2 平成22年と平成23年の比較について

平成22年度の数値と平成23年の数値を比較(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月から開始されており、平成22年3月以前の数値はないため)。

平成 26 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(詳細)

1 宿泊者数

(1) 月別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

月別延べ宿泊者数は、4月以外の全ての月で前年を上回り、年間を通しては前年比2.9%の増加となった。

	平成26年			平成25年		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計
1月	356,790	167,850	528,660	329,560	154,610	496,210
2月	380,750	152,500	536,650	368,600	154,420	532,520
3月	496,020	178,130	685,220	470,010	190,140	673,170
4月	398,090	155,410	558,070	407,050	144,090	564,560
5月	487,960	194,270	688,040	475,140	175,770	667,600
6月	379,230	154,680	538,860	352,710	144,350	510,590
7月	418,270	193,430	621,140	420,950	176,190	603,490
8月	550,630	243,580	806,790	562,450	224,970	795,400
9月	456,920	180,940	645,370	433,760	162,250	603,020
10月	451,280	169,350	632,900	443,740	170,800	620,410
11月	506,540	191,940	711,530	498,630	190,760	695,010
12月	397,570	173,550	581,270	383,070	172,730	560,570
合計	5,280,060	2,155,620	7,534,490	5,145,650	2,061,060	7,322,530
前年比(増減率)	2.6%	4.6%	2.9%			

※ 延べ宿泊者数は四捨五入をしているため、各月の合計値と総数とは一致しない場合がある。

※ 合計は居住地不詳を含むため、県外・県内の合算値とは一致しない。



1 宿泊者数

(2) 発地別県外延べ宿泊者数 【出典：「鹿児島県観光動向調査」】

県外からの宿泊者を発地別で前年と比較すると、鹿児島ー香港線の就航等により国外からの宿泊客は21.5%増加した。

また、発地別構成比をみると、九州地区（30.9%）、関東地区（25.1%）、関西地区（17.4%）の順となっており、この3地区で全体の7割以上（73.4%）を占めている。

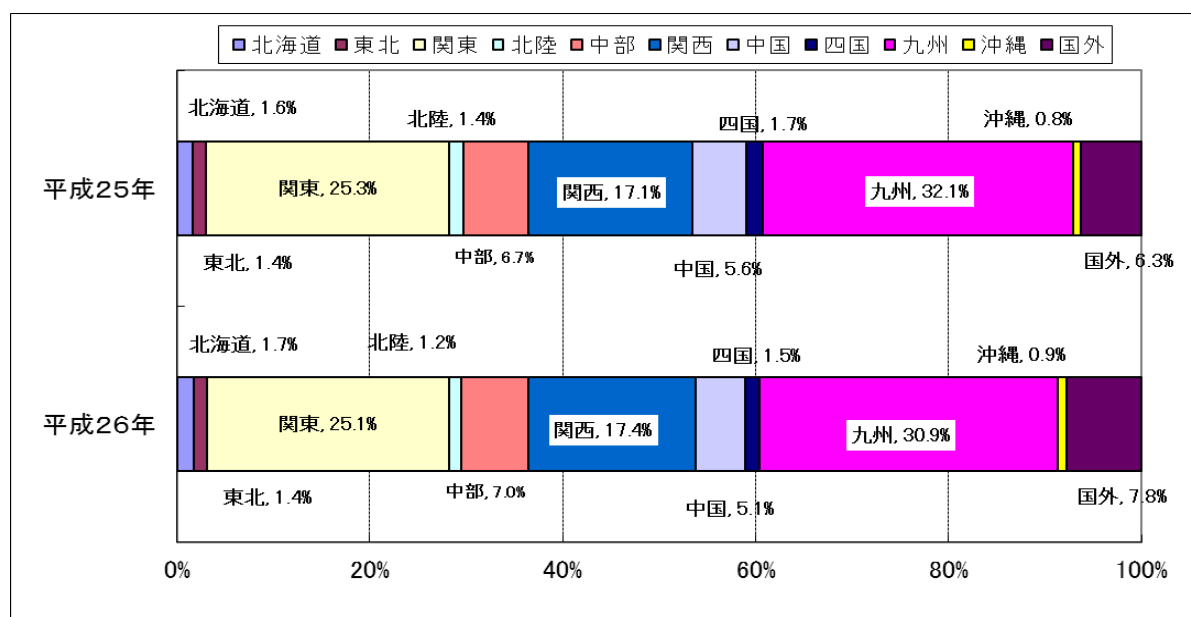


※ 県内主要宿泊施設が調査対象

※ 九州は鹿児島県を除く6県の合計

※ 平成25年の数値は、平成26年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成25年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 発地別県外延べ宿泊者数の構成比

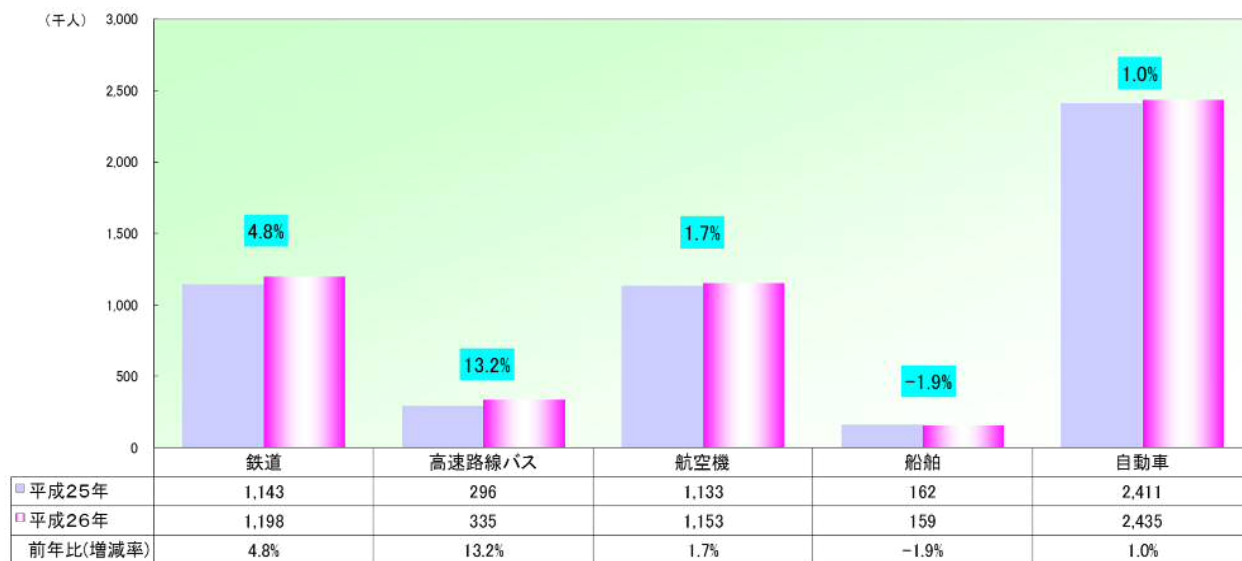


1 宿泊者数

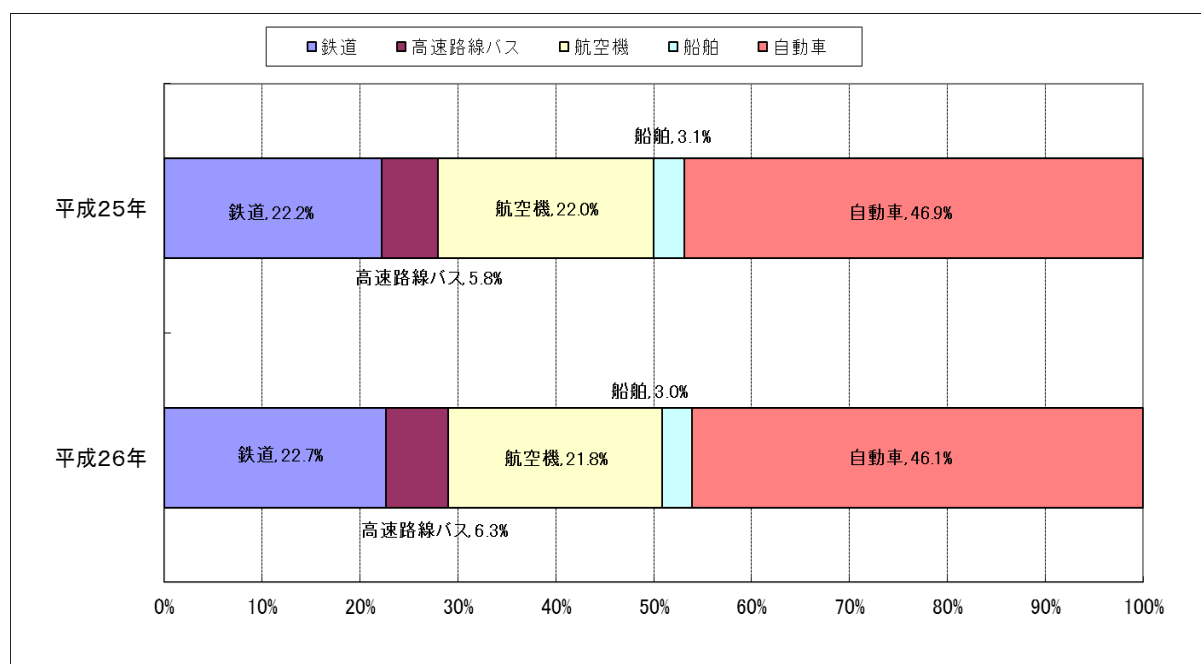
(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」及び県独自調査】

高速路線バスを利用した宿泊客数が前年比 13.2%の増加であり、全交通機関中最も高い伸びであった。次いで鉄道が前年比 4.8%，航空機が前年比 1.7%の増加となった。

また、交通機関別構成比で見ると、自動車によるものが 46.1%と全体の約 5 割を占め、鉄道が 22.7%，航空機が 21.8%の順となっている。



■ 交通機関別県外延べ宿泊者数の構成比



1 宿泊者数

(4) 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

平成 26 年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年比 23.8%増の 266,000 人と過去最高を記録した。アジア地域の経済成長に伴う旅行需要の拡大、円安の進行等に加え、本県では平成 26 年 3 月 30 日に鹿児島－香港線が就航したことが大きな要因と考えられる。

国籍別の構成比では、台湾からの宿泊者が 39.0%と最も多く、次いで韓国 19.4%、香港 11.4%の順となっている。

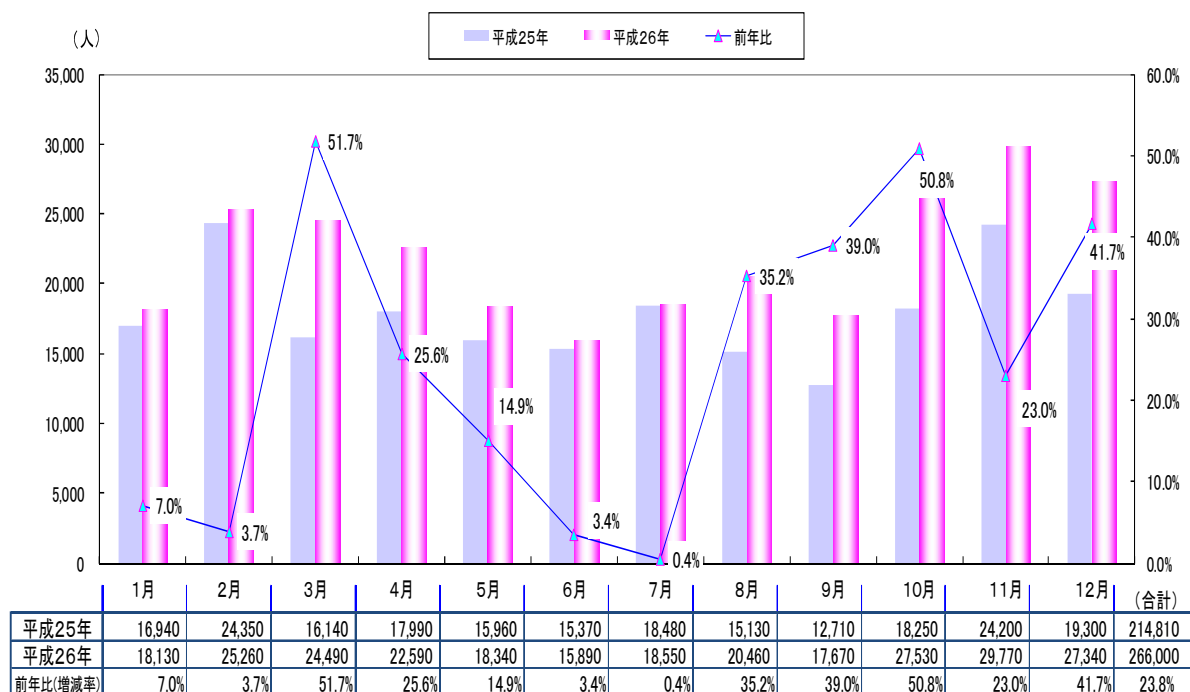
台湾については、前年比 30.4%と増加した。平成 24 年 3 月に就航した鹿児島－台北線を利用した観光客が平成 26 年も好調であったためと考えられる。

韓国については、鹿児島－ソウル線の一時的な冬期デイリー化もあり、前年比 9.0%と増加した。

中国については、前年比 95.7%の増加となった。円安効果や訪日旅行需要の拡大により、個人客、団体客ともに増加したためと考えられる。

香港については、前年比 142.7%と大幅な増加となった。これは平成 26 年 3 月 30 日に鹿児島－香港線が就航したことによる。

■ 月別外国人延べ宿泊者数



※ 従業員数 9 人以下の宿泊施設の宿泊者数も含む

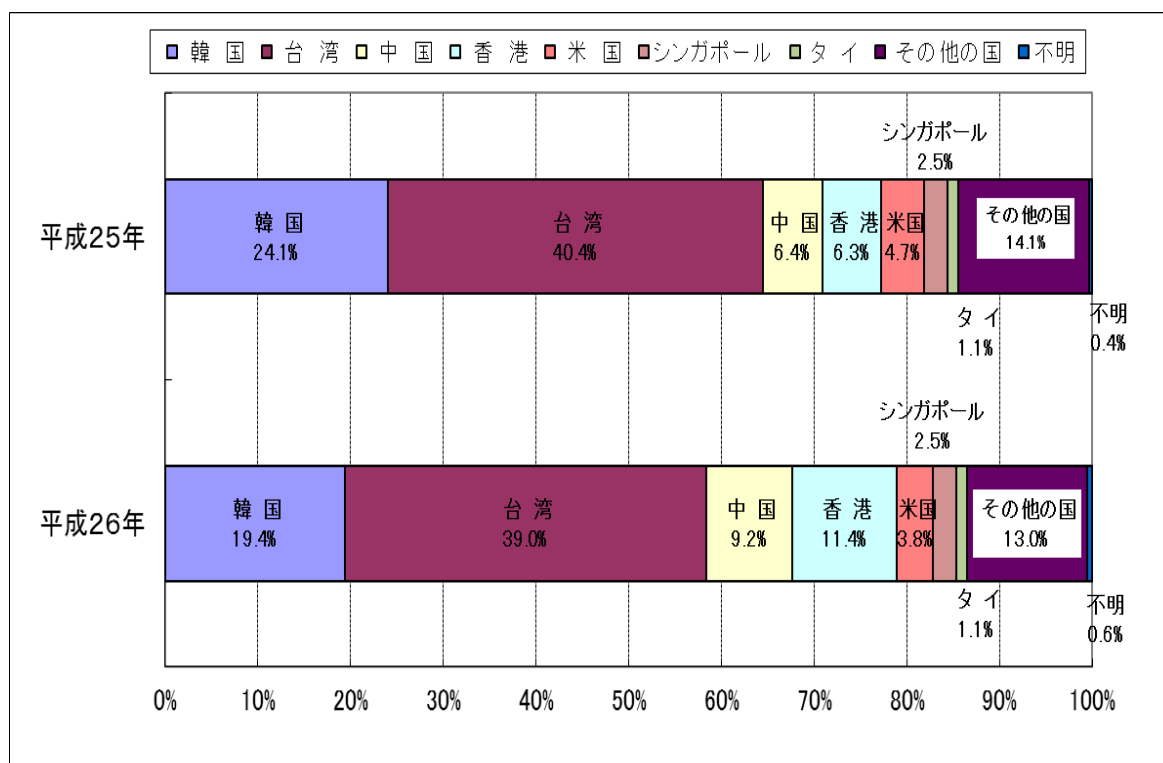
1 宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数



※ 従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数の構成比



※ 従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

2 日帰り客

(1) 四半期別延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

県外日帰り客は前年と比べ、7.1%増加した。また、県内日帰り客は前年と比べ、0.2%増加した。

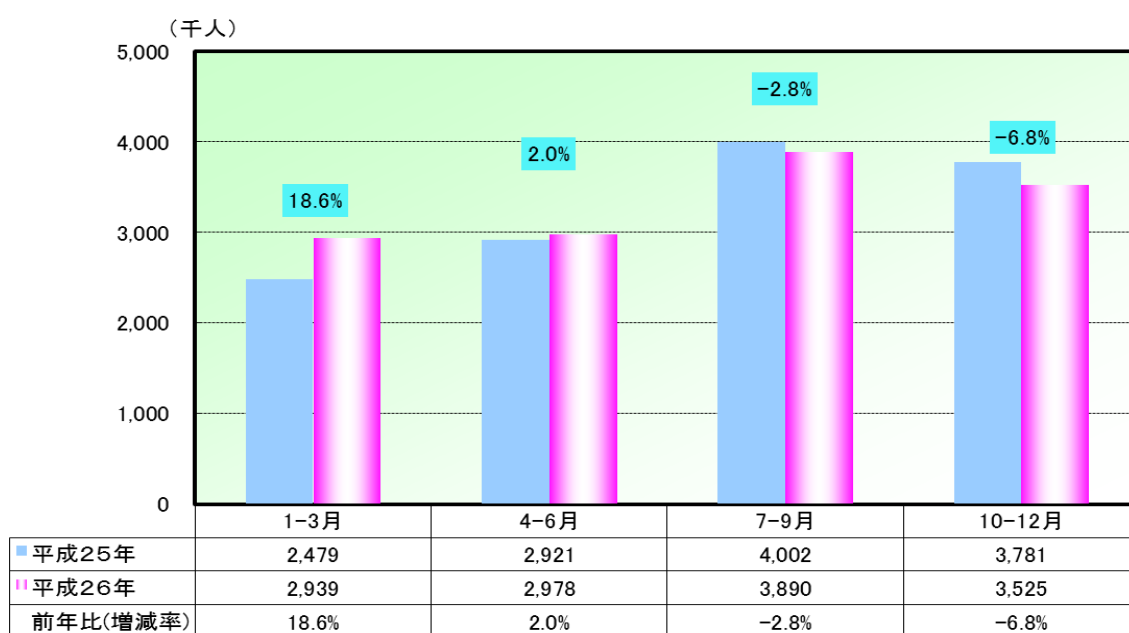
県外日帰り客の増加については、消費税増税前の駆け込み需要や、九州新幹線の利便性が高いことなどが要因であると考えられる。

県内日帰り客の増加についても、消費税増税前の駆け込み需要のほか、消費税増税により宿泊旅行が県内の日帰り旅行に振り替わったことなどが考えられる。

(千人)

延べ日帰り客数	平成26年			平成25年			前年比(増減率)		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計	県外	県内	合計
1-3月期	393	2,546	2,939	332	2,147	2,479	18.4%	18.6%	18.6%
4-6月期	466	2,513	2,978	432	2,489	2,921	7.9%	1.0%	2.0%
7-9月期	588	3,302	3,890	566	3,435	4,002	3.9%	-3.9%	-2.8%
10-12月期	504	3,021	3,525	490	3,291	3,781	2.9%	-8.2%	-6.8%
合計	1,950	11,382	13,332	1,821	11,362	13,183	7.1%	0.2%	1.1%

※ 端数処理の都合上、各表間で数値が一致しない場合がある。



3 観光消費額

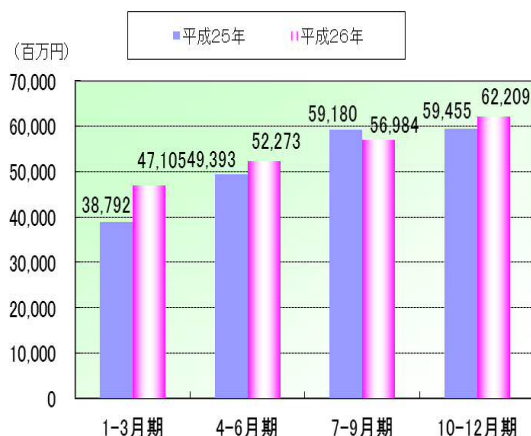
(1) 四半期別観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

宿泊観光消費額は、宿泊客数の増加及び観光消費額単価の増加により、前年比5.7%の増加となった。日帰り観光消費額は、観光入込客数及び観光消費額単価の増加により、前年比12.5%の増加となった。

■ 四半期別観光消費額（宿泊）

(百万円)

	平成26年		平成25年		前年比(増減率)	
1-3月期	47,105	38,792	38,792	21.4%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	36,798	10,307	29,439	9,353	25.0%	10.2%
4-6月期	52,273	49,393	49,393	5.8%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	42,197	10,076	39,899	9,494	5.8%	6.1%
7-9月期	56,984	59,180	59,180	-3.7%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	46,377	10,607	47,655	11,525	-2.7%	-8.0%
10-12月期	62,209	59,455	59,455	4.6%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	50,812	11,397	50,544	8,911	0.5%	27.9%
合計 (1-12月期)	218,571	206,820	206,820	5.7%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	176,184	42,387	167,537	39,283	5.2%	7.9%



■ 四半期別観光消費額（日帰り）

(百万円)

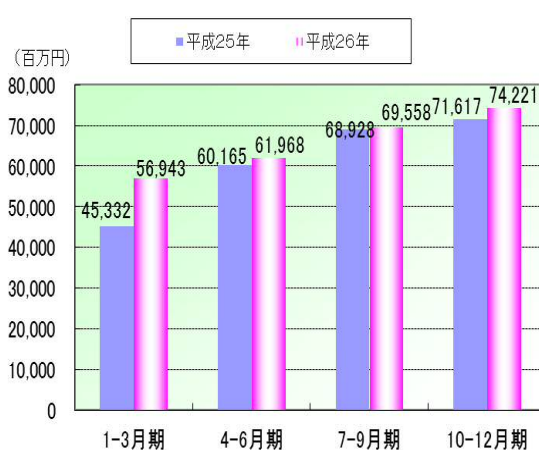
	平成26年		平成25年		前年比(増減率)	
1-3月期	9,838	6,540	6,540	50.4%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	3,235	6,603	2,607	3,933	24.1%	67.9%
4-6月期	9,695	10,772	10,772	-10.0%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	3,648	6,047	3,890	6,882	-6.2%	-12.1%
7-9月期	12,574	9,748	9,748	29.0%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	5,099	7,475	2,939	6,809	73.5%	9.8%
10-12月期	12,012	12,162	12,162	-1.2%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	4,508	7,504	4,620	7,542	-2.4%	-0.5%
合計 (1-12月期)	44,119	39,222	39,222	12.5%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	16,490	27,629	14,056	25,166	17.3%	9.8%



■ 四半期別観光消費額（宿泊＋日帰り）

(百万円)

	平成26年		平成25年		前年比(増減率)	
1-3月期	56,943	45,332	45,332	25.6%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	40,033	16,910	32,046	13,286	24.9%	27.3%
4-6月期	61,968	60,165	60,165	3.0%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	45,845	16,123	43,789	16,376	4.7%	-1.5%
7-9月期	69,558	68,928	68,928	0.9%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	51,476	18,082	50,594	18,334	1.7%	-1.4%
10-12月期	74,221	71,617	71,617	3.6%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	55,320	18,901	55,164	16,453	0.3%	14.9%
合計 (1-12月期)	262,690	246,042	246,042	6.8%		
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	192,675	70,015	181,593	64,449	6.1%	8.6%



※ 端数処理の都合上、数値が一致しない場合がある。

4 地区別の動向

(1) 地区別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成26年の延べ宿泊者数は、鹿児島地区、北薩地区、大隅地区、種子島地区、奄美地区、その他地区で前年を上回った。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が37.8%と最も高く、次いで霧島地区が15.8%となっている。

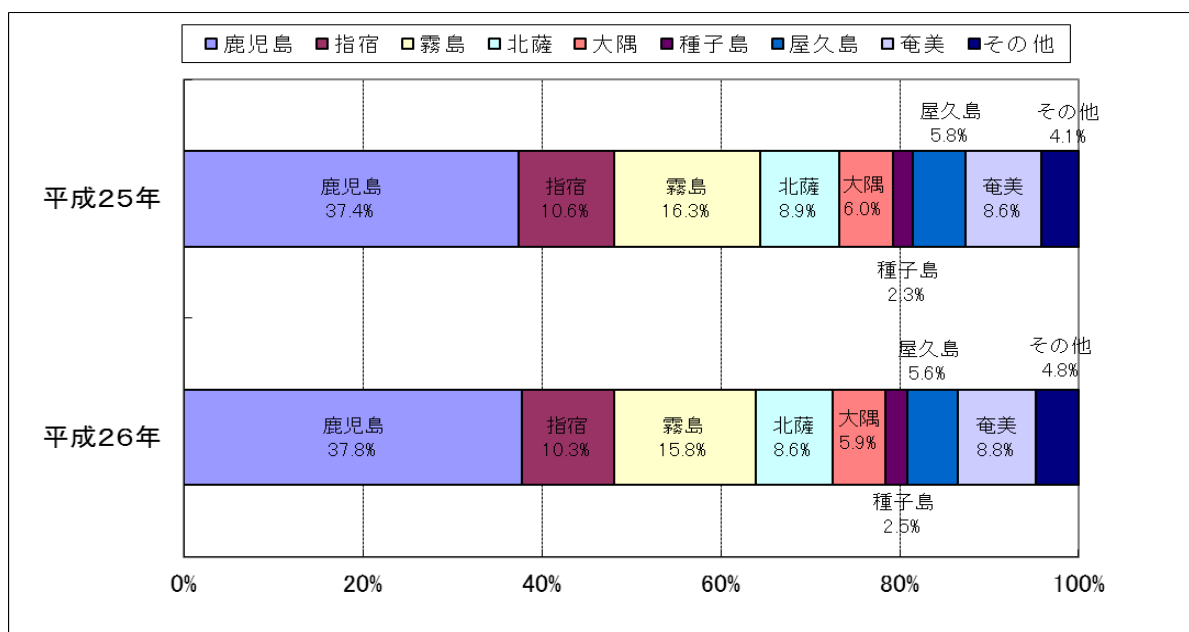
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	2,849,536	772,964	1,189,847	651,277	442,236
平成25年	2,742,002	779,733	1,193,418	649,804	437,868
前年比(増減率)	3.9%	-0.9%	-0.3%	0.2%	1.0%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	185,610	423,933	659,366	359,731	7,534,490
平成25年	165,893	424,638	627,839	301,355	7,322,530
前年比(増減率)	11.9%	-0.2%	5.0%	19.4%	2.9%

※ 延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入しているため）。

■ 地区別延べ宿泊者数の構成比



4 地区別の動向

■ 鹿児島地区の延べ宿泊者数の動向

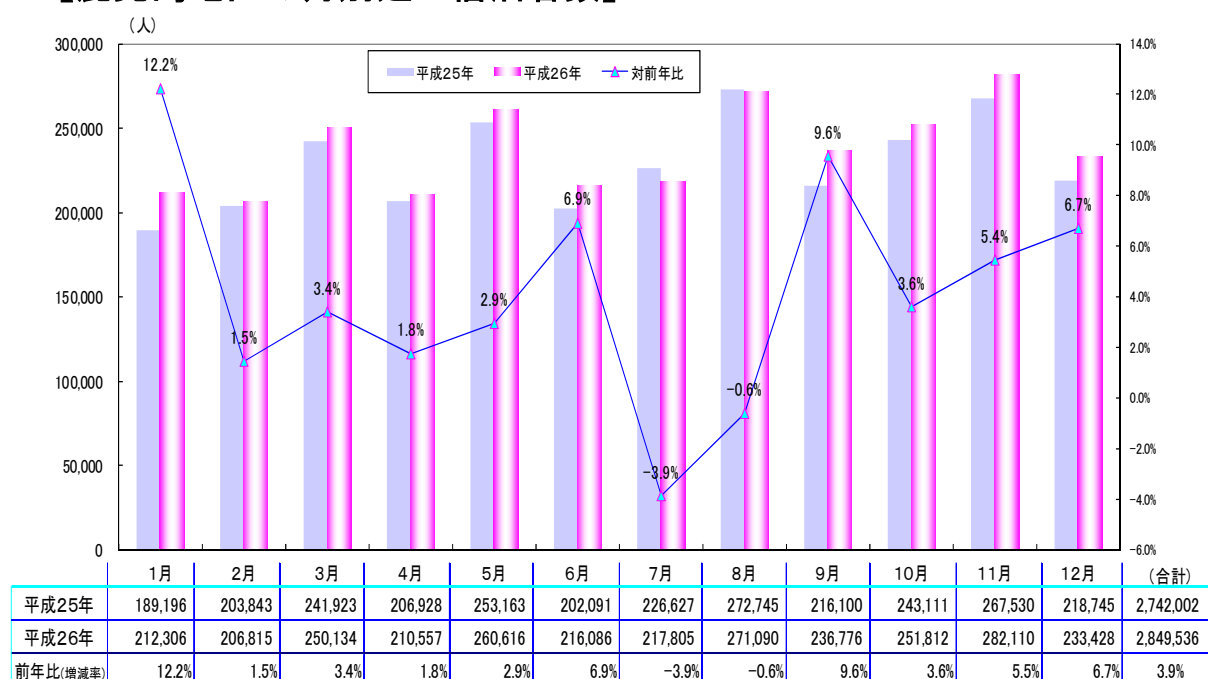
鹿児島地区の延べ宿泊者数は前年比 3.9%増加し、前年と比べて約 10 万人の増加となった。

九州新幹線が依然高い利用水準であることに加え、九州新幹線みずほが 1 日 6 往復になったことや平成 26 年 3 月 30 日に鹿児島ー香港線が新規就航したことによる交通アクセスの向上により、宿泊客が増加したことが要因と考えられる。

(人)					
鹿児島地区	平成26年		平成25年		前年比（増減率）
延べ宿泊者数 1～12月分	2,849,536		2,742,002		3.9%
	県外	県内	県外	県内	県外 県内
	2,048,565	761,489	1,986,760	711,865	3.1% 7.0%

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【鹿児島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 指宿地区の延べ宿泊者数の動向

指宿地区の延べ宿泊者数は前年と比べ約 7 千人の減少となり、前年比 0.9%減少した。

平成 26 年 3 月 30 日の鹿児島ー香港線新規就航等の影響で外国人宿泊客は増加したものの、前年より台風が多く接近したことや教育旅行の件数の減少などが影響したと考えられる。

		(人)													
指宿地区	平成26年	平成25年		前年比（増減率）											
延べ宿泊者数	772,964	779,733		-0.9%											
1～12月分	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>626,408</td><td>132,958</td></tr></table>	県外	県内	626,408	132,958	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>638,416</td><td>128,982</td></tr></table>	県外	県内	638,416	128,982	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>-1.9%</td><td>3.1%</td></tr></table>	県外	県内	-1.9%	3.1%
県外	県内														
626,408	132,958														
県外	県内														
638,416	128,982														
県外	県内														
-1.9%	3.1%														

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【指宿地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 霧島地区の延べ宿泊者数の動向

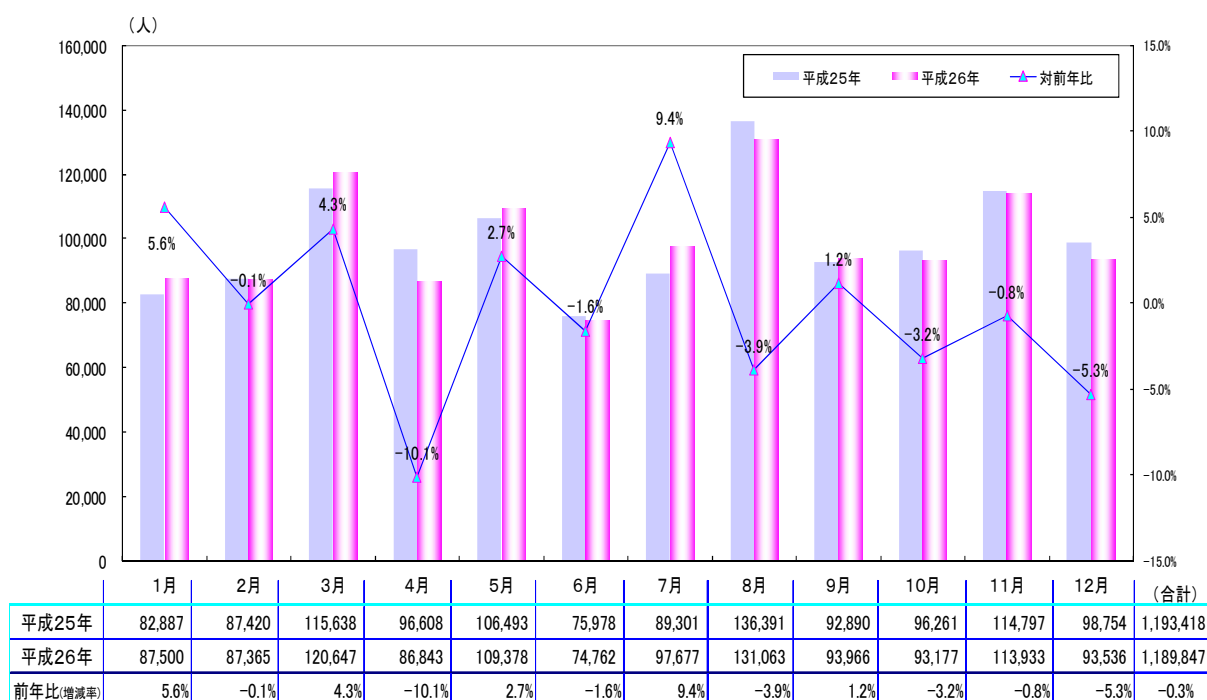
霧島地区の延べ宿泊者数は、前年比 0.3%減少し、前年と比べ約 3500 人の減少となった。

これは、平成 26 年 3 月 30 日の鹿児島ー香港線新規就航等の影響で外国人宿泊客は増加したが、前年よりも台風が多く接近したことやスポーツキャンプ・合宿及び教育旅行の件数の減少等が影響したと考えられる。

		(人)				
霧島地区	平成26年	平成25年		前年比（増減率）		
延べ宿泊者数	1,189,847	1,193,418		-0.3%		
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	865,528	307,419	874,091	300,448	-1.0%	2.3%

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【霧島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 北薩地区の延べ宿泊者数の動向

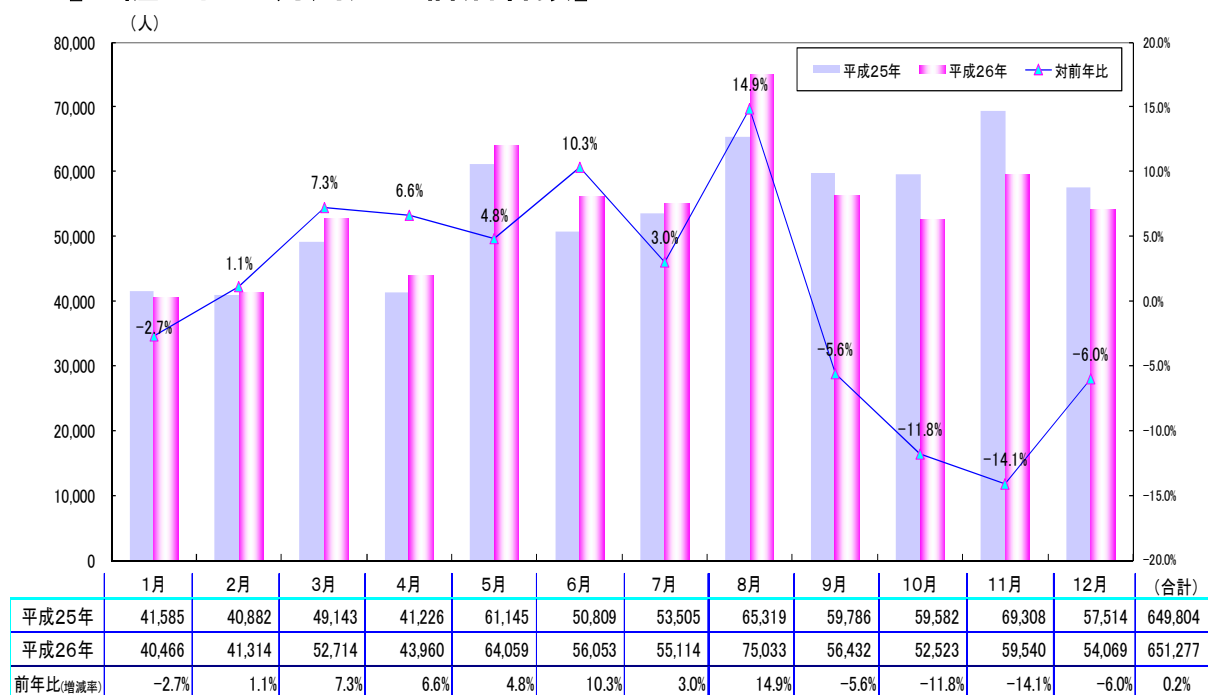
北薩地区の延べ宿泊者数は、前年比 0.2%の増加となり、前年と比べ約 1,500 人の増加となった。

これは、新幹線を利用したビジネス客の増加やコンベンションの開催件数の増加等が要因であると考えられる。

		(人)													
北薩地区	平成26年	平成25年		前年比（増減率）											
延べ宿泊者数	651,277	649,804		0.2%											
1～12月分	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>405,739</td><td>239,065</td></tr></table>	県外	県内	405,739	239,065	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>401,600</td><td>237,924</td></tr></table>	県外	県内	401,600	237,924	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>1.0%</td><td>0.5%</td></tr></table>	県外	県内	1.0%	0.5%
県外	県内														
405,739	239,065														
県外	県内														
401,600	237,924														
県外	県内														
1.0%	0.5%														

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【北薩地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 大隅地区の延べ宿泊者数の動向

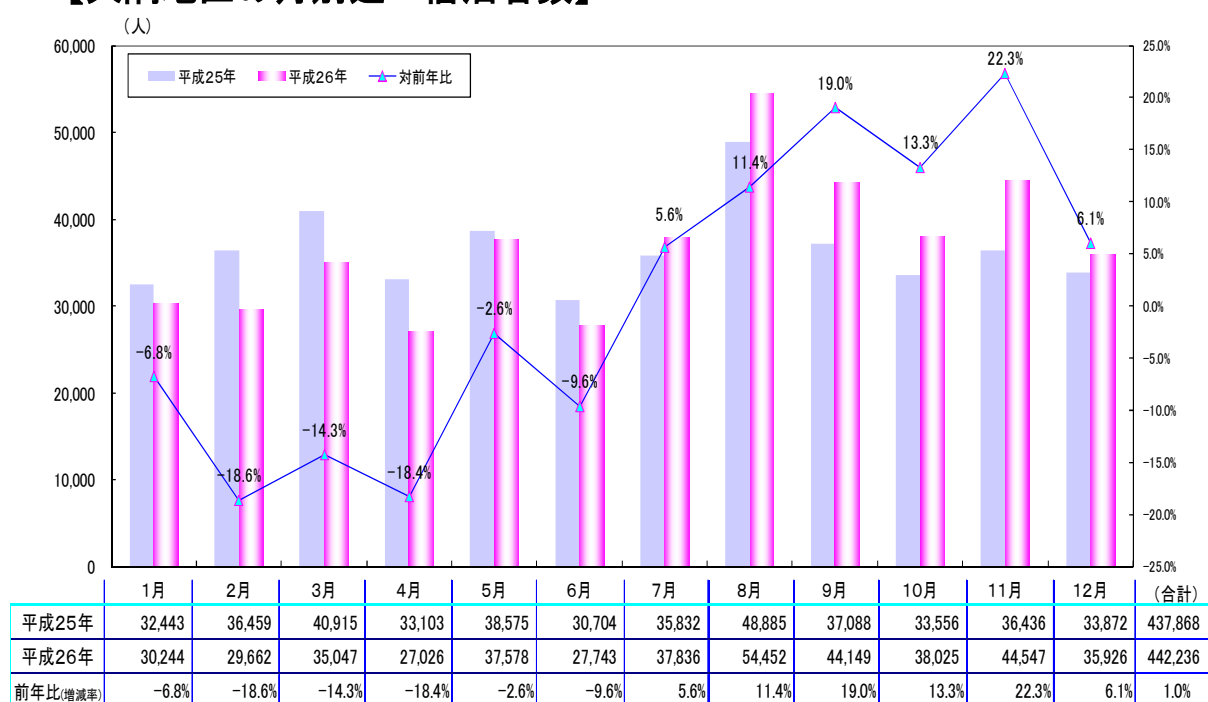
大隅地区の延べ宿泊者数は、前年比 1.0%の増加となり、前年に比べ約 4 千人の増加となった。

これは、スポーツキャンプ・合宿や、ロケット打ち上げに伴う宿泊客が増加したことなどが増加の要因と考えられる。

		(人)			
大隅地区		平成26年	平成25年	前年比(増減率)	
延べ宿泊者数 1～12月分		442,236	437,868	1.0%	
		県外 274,631 県内 163,245	県外 264,080 県内 166,861	県外 4.0%	県内 -2.2%

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【大隅地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 種子島地区の延べ宿泊者数の動向

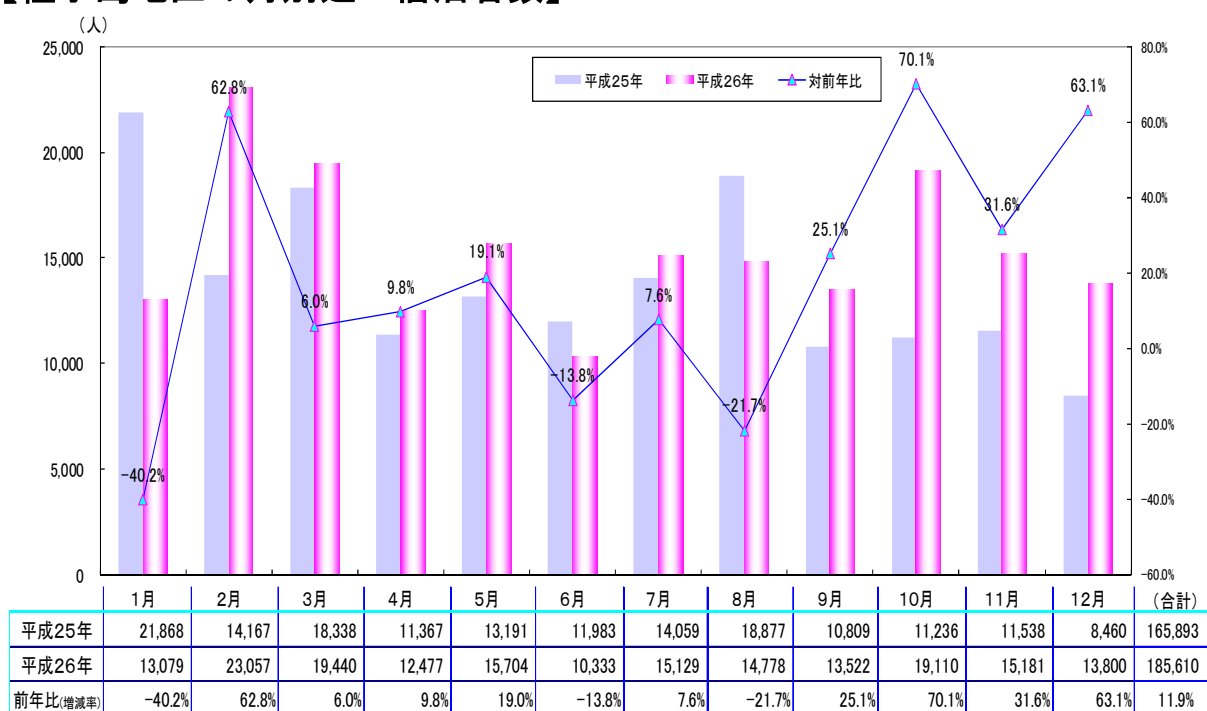
種子島地区の延べ宿泊者数は前年比 11.9%の増加となり、前年と比べて約 2 万人の増加となった。

これは、計 3 回のロケットの打ち上げに伴う関係者と見物客、また教育旅行の宿泊客の増加が影響したと考えられる。

		(人)													
種子島地区	平成26年	平成25年		前年比 (増減率)											
延べ宿泊者数	185,610	165,893		11.9%											
1～12月分	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>94,864</td><td>89,749</td></tr></table>	県外	県内	94,864	89,749	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>99,042</td><td>64,226</td></tr></table>	県外	県内	99,042	64,226	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>-4.2%</td><td>39.7%</td></tr></table>	県外	県内	-4.2%	39.7%
県外	県内														
94,864	89,749														
県外	県内														
99,042	64,226														
県外	県内														
-4.2%	39.7%														

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【種子島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 屋久島地区の延べ宿泊者数の動向

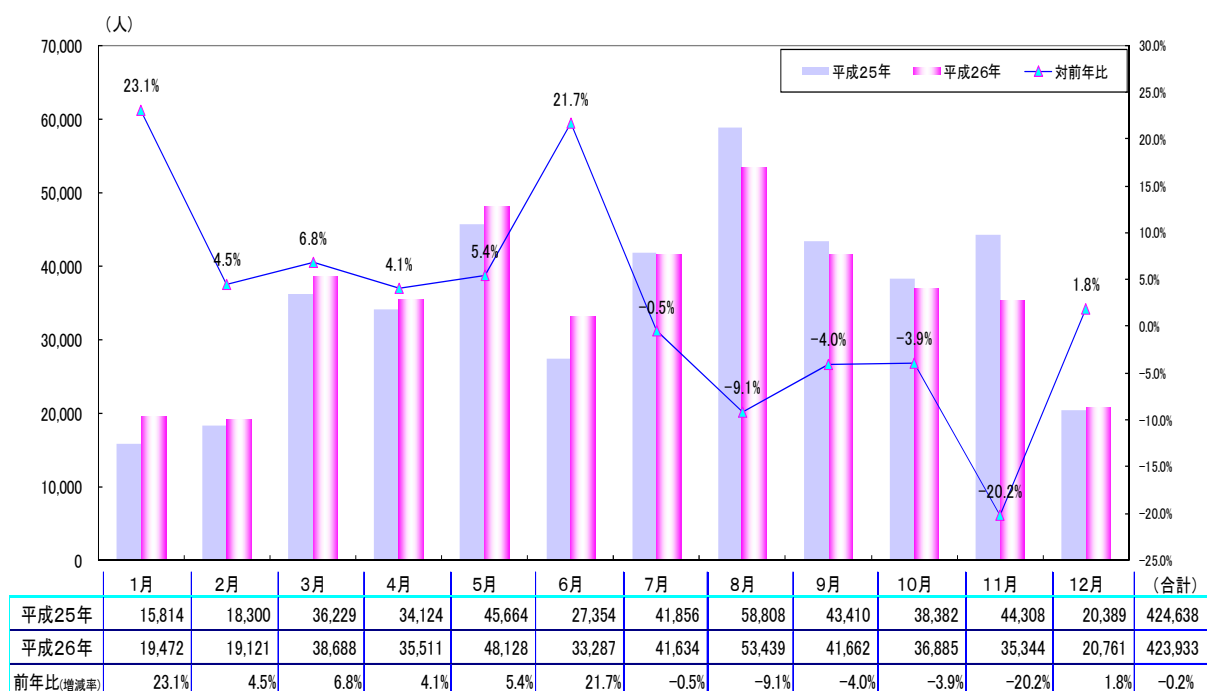
屋久島地区の延べ宿泊者数は、前年比 0.2% の減少となり、前年と比べ 700 人の減少となった。

これは、教育旅行の宿泊客は増加したものの、前年に比べ台風の接近回数が多かったこと等が影響したと考えられる。

屋久島地区		平成26年		平成25年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数		423,933		424,638		-0.2%	
1～12月分		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		360,840	54,930	371,648	46,272	-2.9%	18.7%

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【屋久島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 奄美地区の延べ宿泊者数の動向

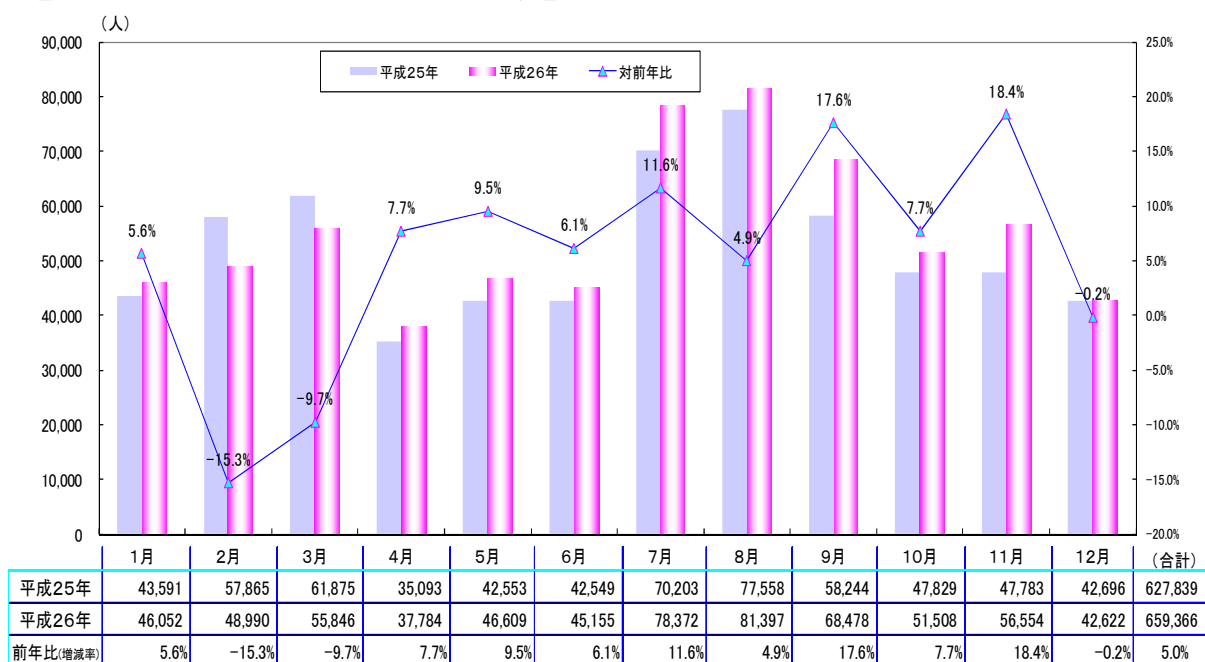
奄美地区の延べ宿泊者数は、前年比 5.0%の増加となり、前年に比べ約 3 万人の増加となった。

これは、平成 26 年 7 月 1 日の LCC（バニラ・エア）就航や、スポーツキャンプ・合宿の増加等の影響と考えられる。

		(人)													
奄美地区	平成26年	平成25年		前年比（増減率）											
延べ宿泊者数	659,366	627,839		5.0%											
1～12月分	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>365,295</td><td>289,374</td></tr></table>	県外	県内	365,295	289,374	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>321,975</td><td>295,932</td></tr></table>	県外	県内	321,975	295,932	<table><tr><th>県外</th><th>県内</th></tr><tr><td>13.5%</td><td>-2.2%</td></tr></table>	県外	県内	13.5%	-2.2%
県外	県内														
365,295	289,374														
県外	県内														
321,975	295,932														
県外	県内														
13.5%	-2.2%														

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【奄美地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

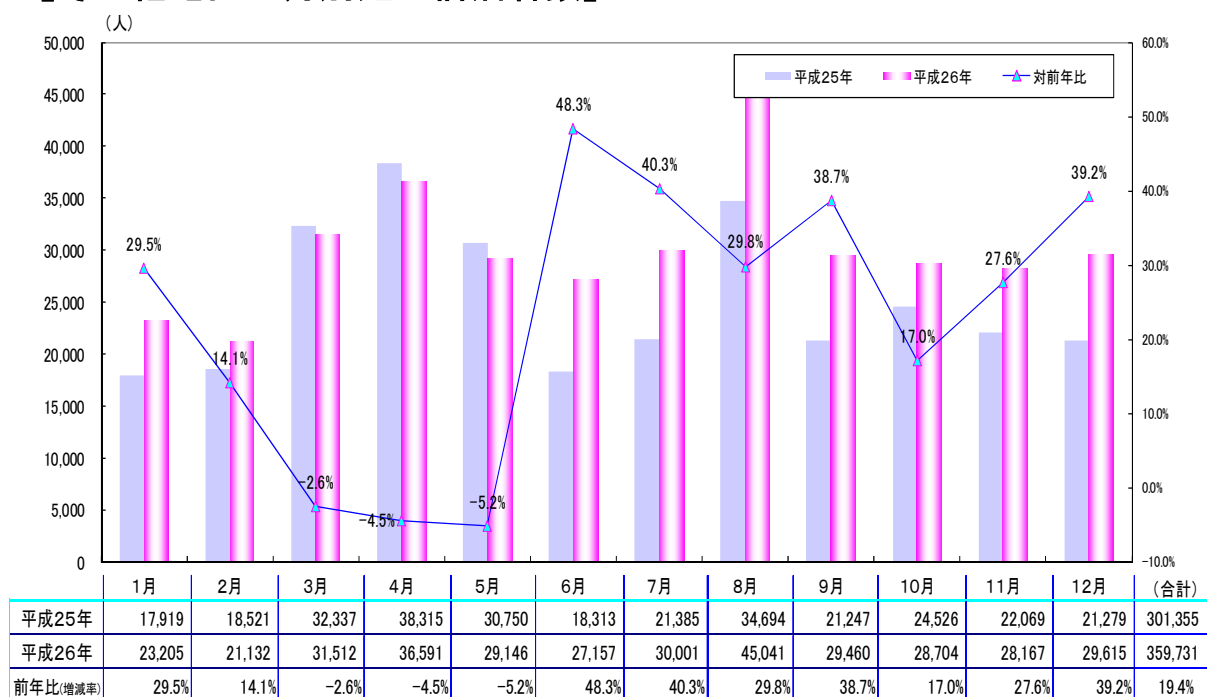
■ その他地区の延べ宿泊者数の動向

その他地区の延べ宿泊者数は、前年比 19.4%の増加となった。

(人)						
その他地区	平成26年		平成25年		前年比（増減率）	
延べ宿泊者数 1～12月分	359,731		301,355		19.4%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	238,190	117,390	188,038	108,550	26.7%	8.1%

※ 延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【その他地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

(2) 地区別延べ日帰り客数 【出典：観光庁「観光入込客統計」を用いて県で推定】

平成 26 年の延べ日帰り客数は、鹿児島地区、指宿地区、霧島地区、北薩地区、種子島地区が前年を上回り、全体で前年を 1.1% 上回った。

地区別構成比は、鹿児島地区が 27.1% と全体の約 3 割を占め、次いで霧島地区が 17.8% と全体の約 2 割となっている。

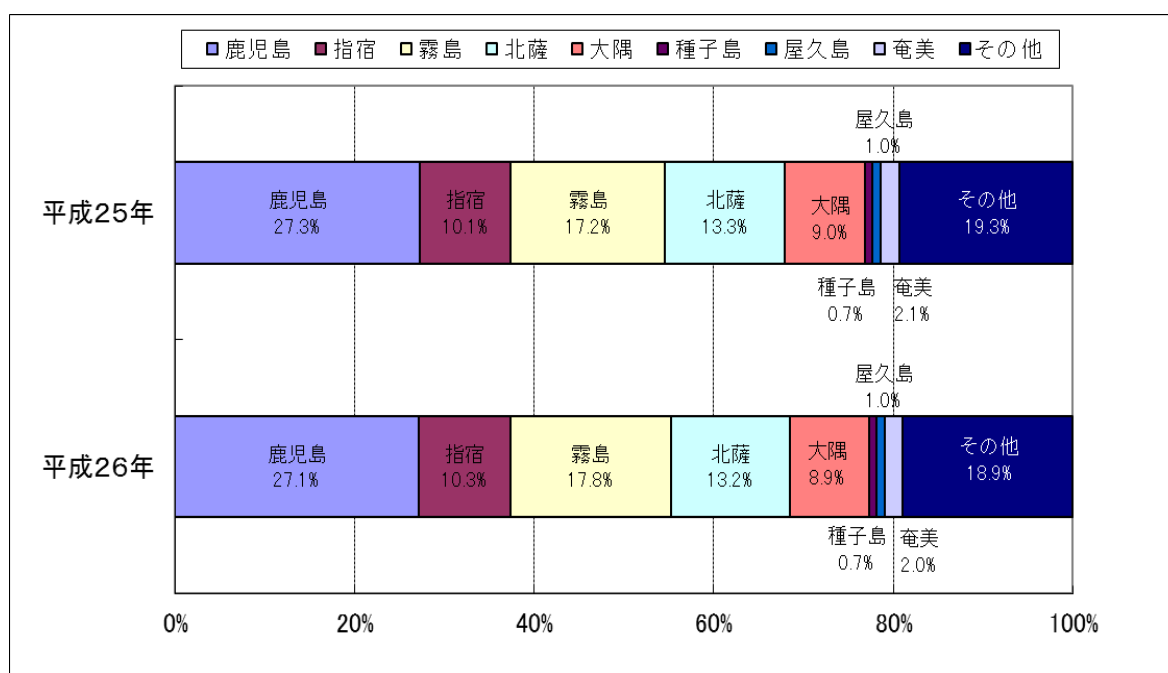
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	3,613,880	1,373,182	2,377,652	1,764,978	1,183,903
平成25年	3,599,384	1,332,249	2,264,992	1,754,607	1,184,784
前年比(増減率)	0.4%	3.1%	5.0%	0.6%	-0.1%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	96,507	130,906	265,488	2,525,504	13,332,000
平成25年	95,859	131,309	279,736	2,540,081	13,183,000
前年比(増減率)	0.7%	-0.3%	-5.1%	-0.6%	1.1%

※ 平成 26 年と平成 25 年の観光地点数を同一にしているため、「平成 25 年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 地区別延べ日帰り客数の構成比



4 地区別の動向

(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

平成 26 年の地区別延べ宿泊者数と地区別延べ日帰り客数の合算値は、屋久島地区以外が前年を上回り、全体として前年比 1.8%の増加となった。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が 31.0%と全体の 3 割を占め、次いで霧島地区が 17.1%となっている。

(人)

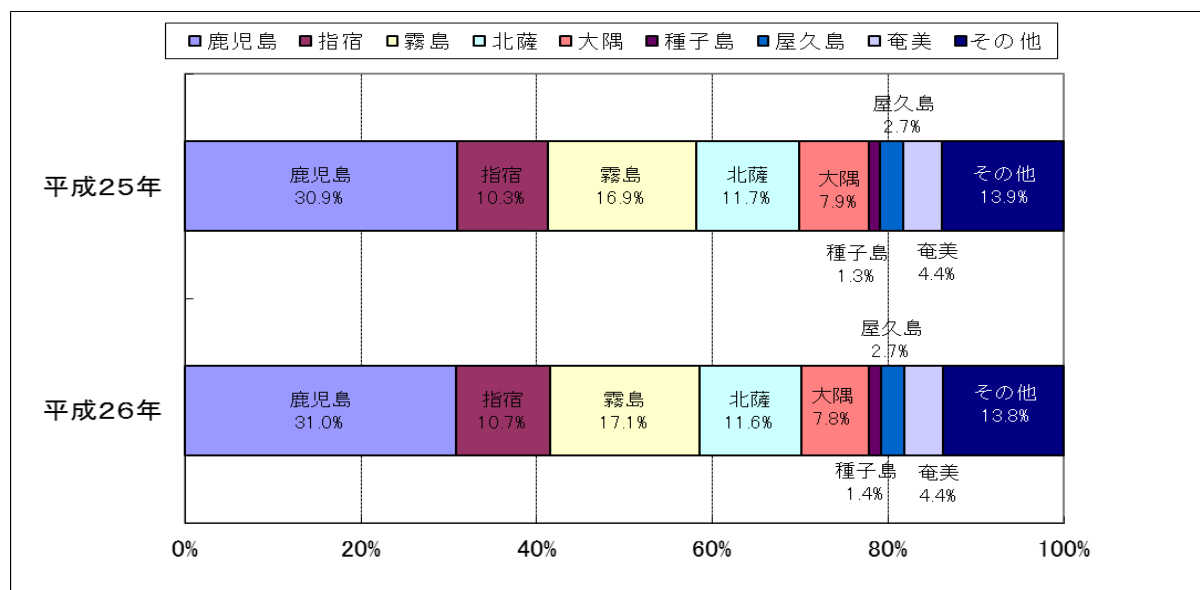
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	6,463,416	2,146,146	3,567,499	2,416,255	1,626,139
平成25年	6,341,386	2,111,982	3,458,410	2,404,411	1,622,652
前年比(増減率)	1.9%	1.6%	3.2%	0.5%	0.2%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	282,117	554,839	924,854	2,885,235	20,866,490
平成25年	261,752	555,947	907,575	2,841,436	20,505,530
前年比(増減率)	7.8%	-0.2%	1.9%	1.5%	1.8%

※ 1 延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入している）。

※ 2 延べ日帰り客数は、平成 26 年と平成 25 年の観光地点数を同一にしているため、「平成 25 年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数の構成比



4 地区別の動向

(4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

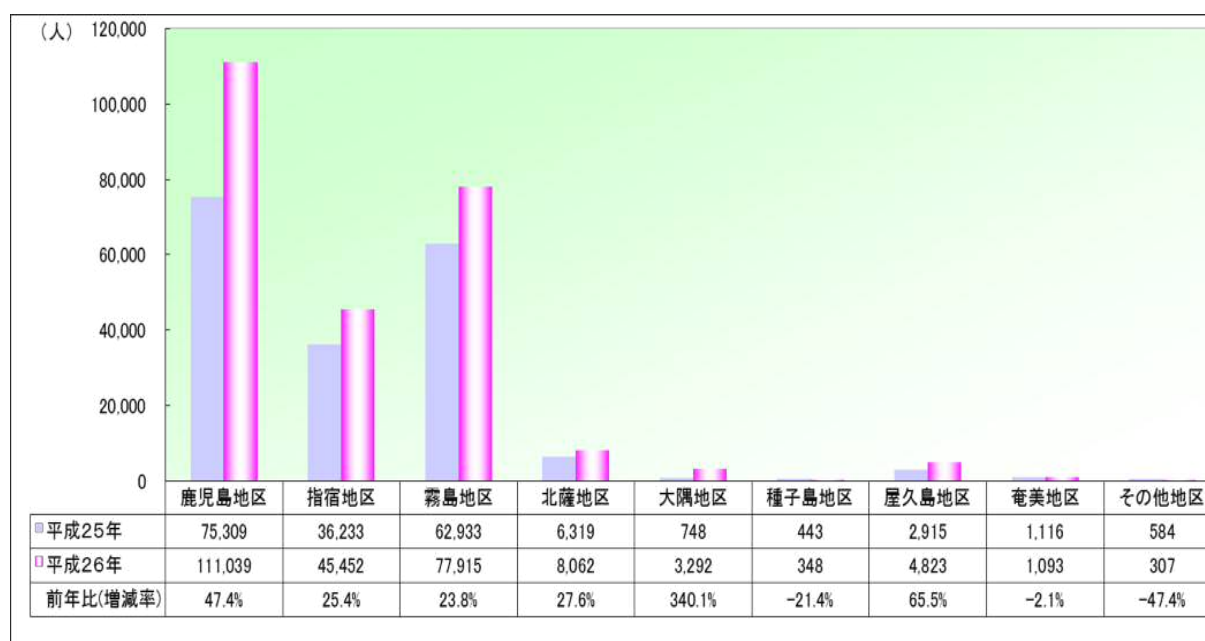
平成 26 年の地区別外国人延べ宿泊者数は、鹿児島地区、指宿地区、霧島地区、北薩地区、大隅地区、屋久島地区において前年を上回り、全体として前年比 35.2% の増加となった。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	111,039	45,452	77,915	8,062	3,292
平成25年	75,309	36,233	62,933	6,319	748
前年比(増減率)	47.4%	25.4%	23.8%	27.6%	340.1%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	348	4,823	1,093	307	252,330
平成25年	443	2,915	1,116	584	186,600
前年比(増減率)	-21.4%	65.5%	-2.1%	-47.4%	35.2%

※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

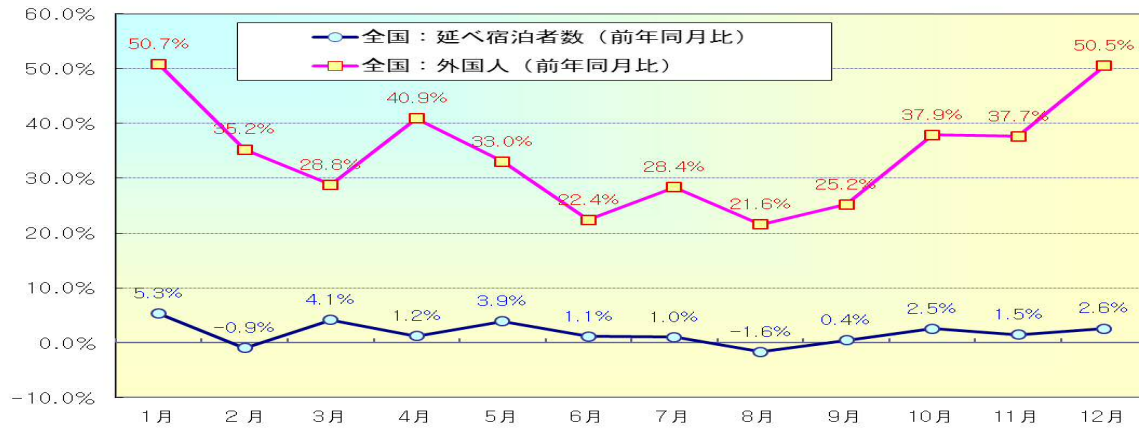


※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いた。

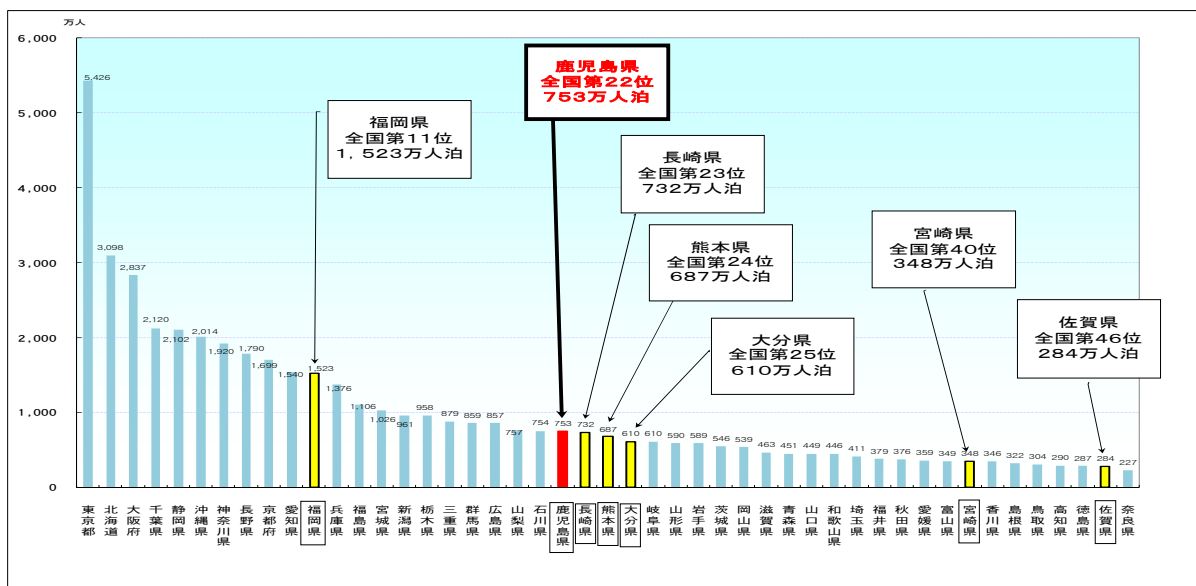
参考資料

1 全国における宿泊者の動向【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

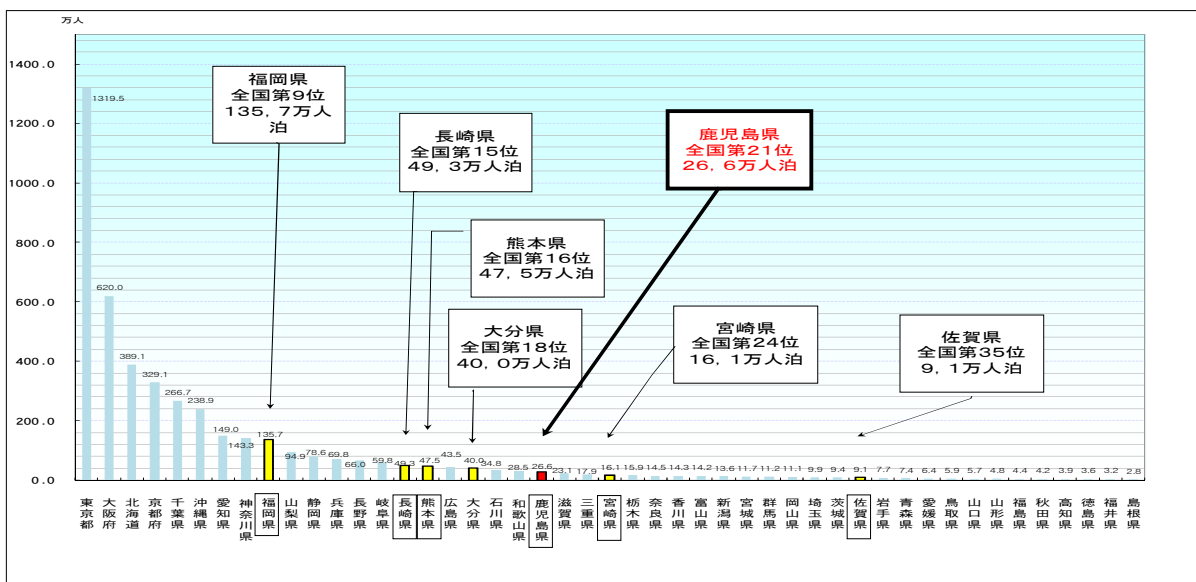
(1) 月別延べ宿泊者数(平成 26 年)



(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 26 年)

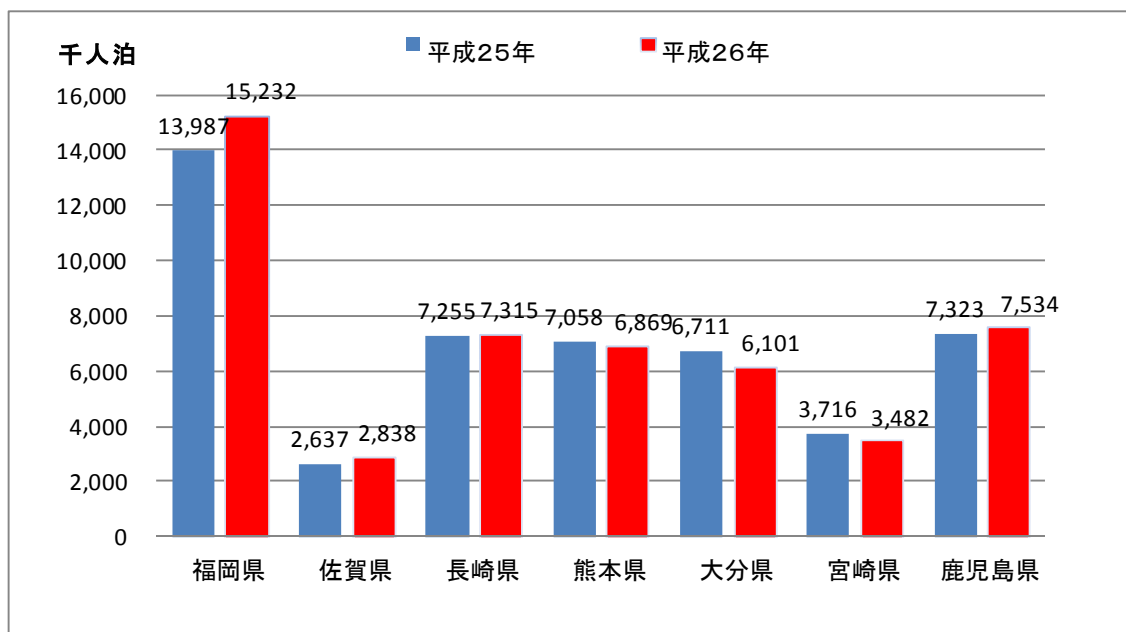


(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 26 年)



2 九州における宿泊者の動向

(1) 九州各県別延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



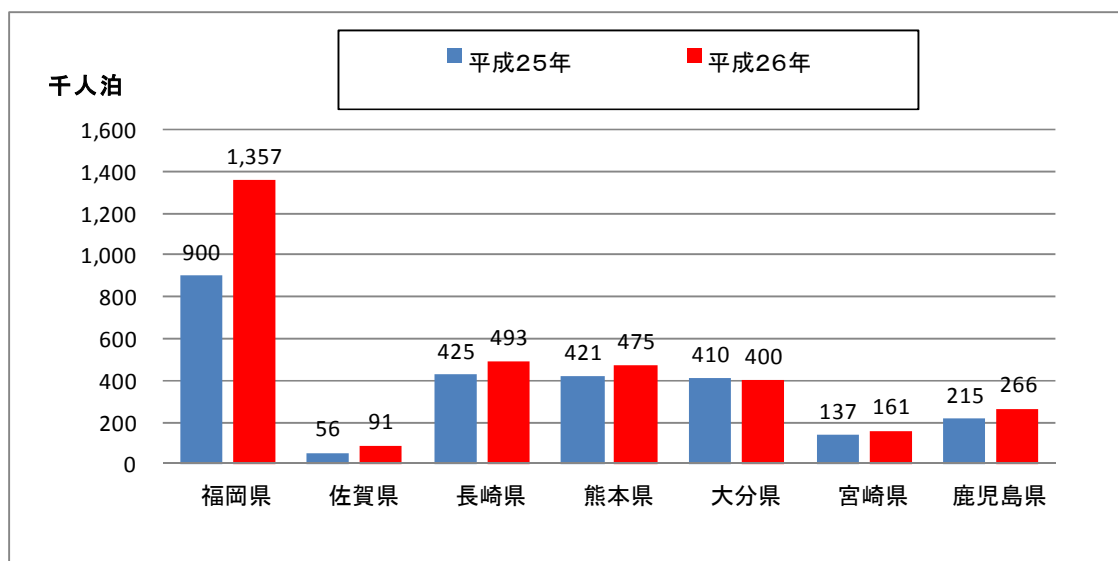
単位：人泊

	平成25年	平成26年	順位		前年比
			全国順位	九州順位	
福岡県	13,986,570	15,232,160	11位	1位	8.9%
佐賀県	2,637,180	2,837,990	46位	7位	7.6%
長崎県	7,254,700	7,315,020	23位	3位	0.8%
熊本県	7,057,610	6,869,150	24位	4位	-2.7%
大分県	6,711,060	6,101,170	25位	5位	-9.1%
宮崎県	3,716,050	3,481,860	40位	6位	-6.3%
鹿児島県	7,322,530	7,534,490	22位	2位	2.9%
九州計	48,685,680	49,371,850			1.4%
全国	465,893,370	473,501,950			1.6%

※ 従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

2 九州における宿泊旅行者の動向

(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



単位：人泊

	平成25年	平成26年			前年比
			全国順位	九州順位	
福岡県	900,040	1,357,300	9位	1位	50.8%
佐賀県	55,550	90,940	35位	7位	63.7%
長崎県	424,980	492,510	15位	2位	15.9%
熊本県	421,320	475,400	16位	3位	12.8%
大分県	409,640	400,400	18位	4位	-2.3%
宮崎県	136,990	161,020	24位	6位	17.5%
鹿児島県	214,810	266,000	21位	5位	23.8%
九州計	2,563,340	3,243,580			26.5%
全国	33,495,730	44,824,600			33.8%

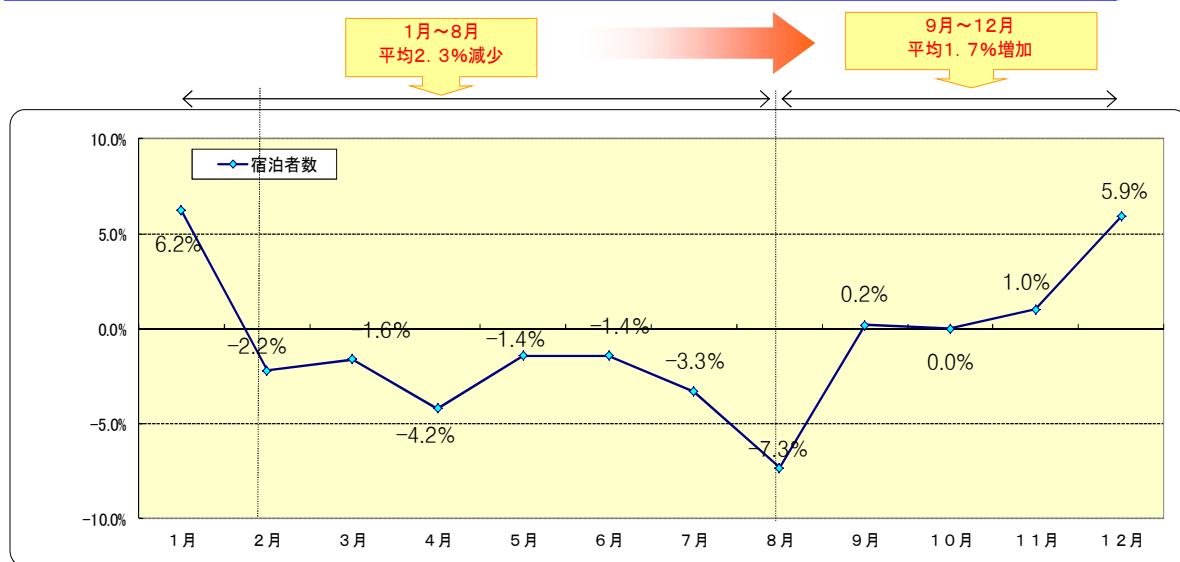
※ 従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

3 鹿児島県観光動向調査

(1) 月別の宿泊客数

2月から8月の宿泊者数は前年同月を下回って推移し、1月から8月の宿泊者数は平均2.3%の減少となった。

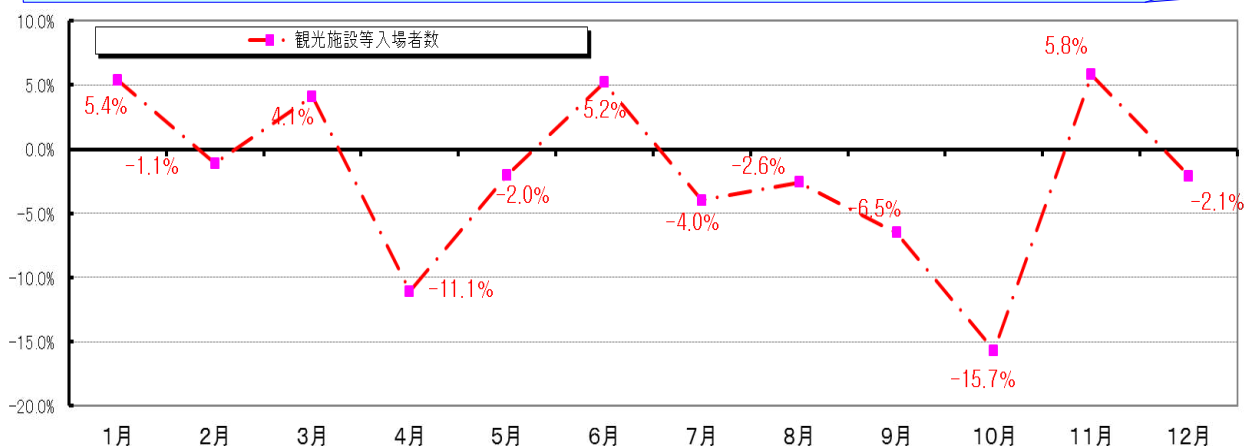
9月から12月の宿泊者数は前年同月に比べ平均1.7%の増加となった。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位: 人 計
平成25年	227,771	257,067	333,300	271,373	316,633	233,733	256,670	368,451	270,498	281,927	320,979	253,021	3,391,423
平成26年	241,794	251,390	328,110	260,058	312,225	230,346	248,109	341,536	271,161	281,971	324,106	268,068	3,358,874

(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数

県内の主要観光施設・ドライブインの入場者数を前年と比較すると、1.8%の減少となった。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位: 人 計
平成25年	836,120	412,178	581,434	564,646	785,291	353,392	390,016	695,741	514,082	513,710	583,470	404,380	6,634,460
平成26年	881,564	407,633	605,134	502,000	769,477	371,622	374,351	677,679	480,834	432,990	617,104	396,005	6,516,393

3 鹿児島県観光動向調査

(3) 旅行形態別延べ宿泊客数

宿泊客を形態別にみると、個人客数は前年と比較すると0.1%減少し、団体客数は4.4%の減少となった。

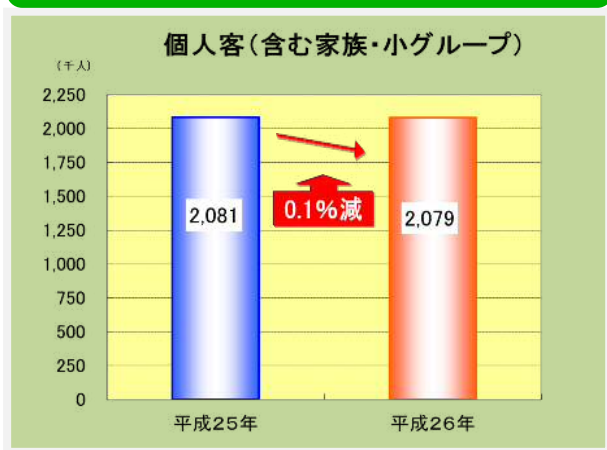
《平成25年》 (単位:人, %)

	宿泊客数	構成比
合 計	2,846,416	
個人客(含む家族・小グループ)	2,080,502	(73.1)
団体客(15名以上)	765,914	
一般団体・企画商品	626,920	(22.0)
大 会	56,262	(2.0)
教育旅行	82,732	(2.9)

《平成26年》 (単位:人, %)

	宿泊客数	構成比
合 計	2,806,748	
個人客(含む家族・小グループ)	2,079,318	(74.1)
団体客(15名以上)	727,430	
一般団体・企画商品	599,370	(21.4)
大 会	47,964	(1.7)
教育旅行	80,096	(2.9)

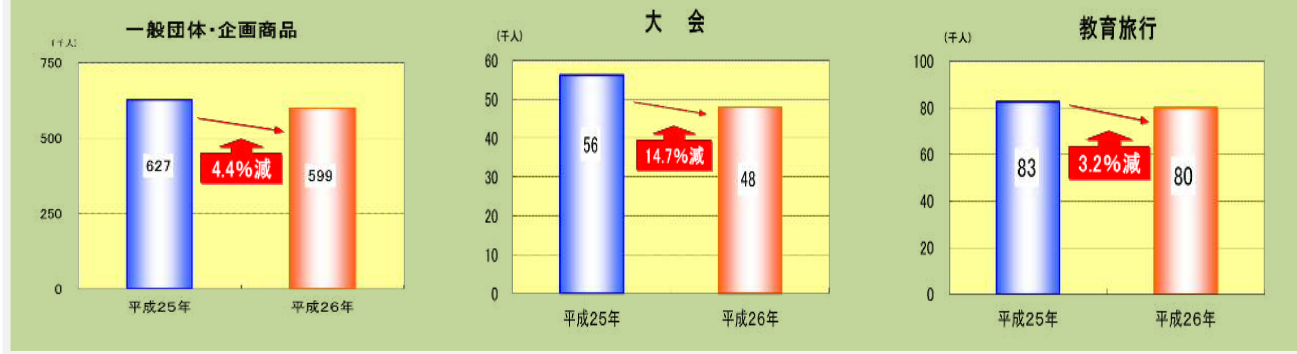
個人



団体



※ 参考「団体」の内訳

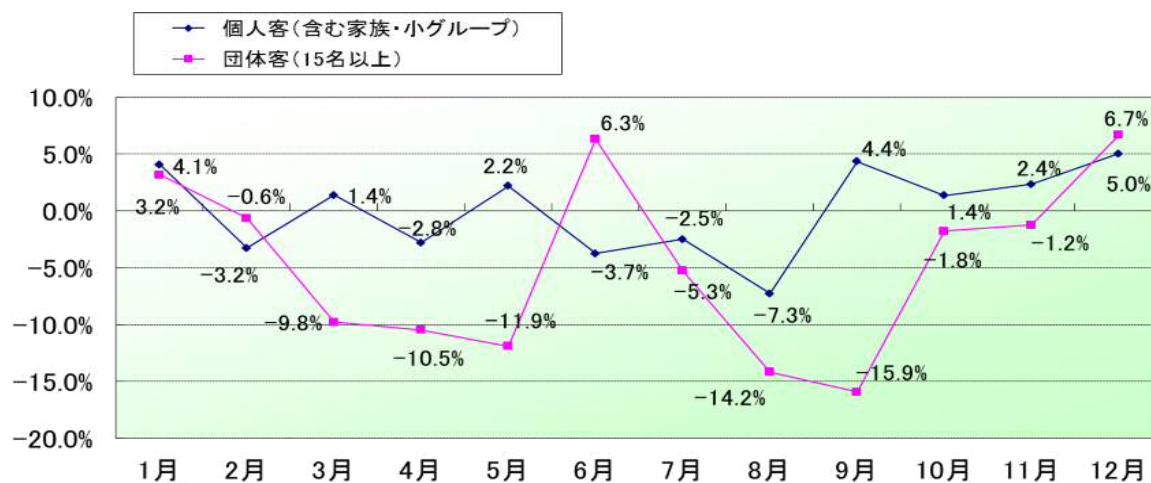


※1 調査対象のうち回答があった施設の集計

※2 平成25年の数値は、平成26年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成25年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

3 鹿児島県観光動向調査

(4) 月別旅行形態の動向 (対前年同月比)



《個人客数》

(合計)

平成25年	146,871	153,273	197,144	157,856	187,896	140,929	156,337	247,956	164,156	171,985	185,918	170,181	2,080,502
平成26年	152,863	148,295	199,895	153,469	192,035	135,645	152,464	229,930	171,318	174,331	190,300	178,773	2,079,318

単位: 人

《団体客数》

(合計)

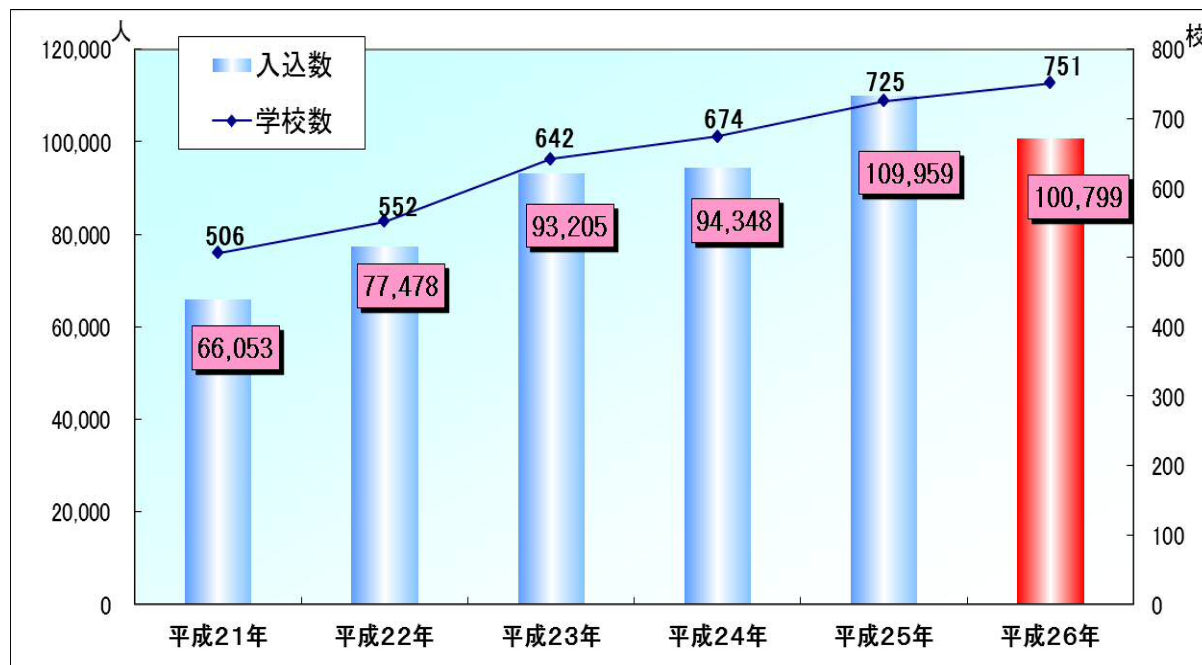
平成25年	45,554	60,757	85,141	67,487	79,841	54,532	39,626	48,707	63,844	74,992	93,490	51,943	765,914
平成26年	47,007	60,366	76,827	60,430	70,348	57,984	37,539	41,814	53,687	73,676	92,333	55,419	727,430

単位: 人

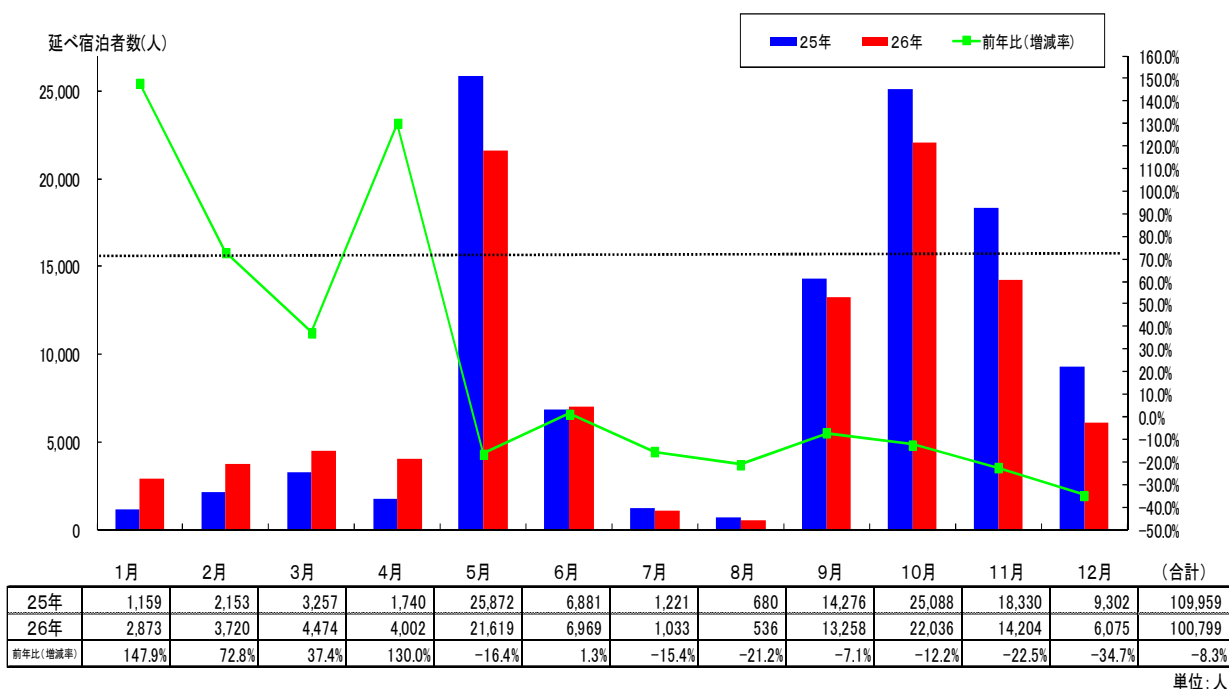
4 教育旅行の受入状況

出典：「平成 26 年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（過去 5 年間の推移）

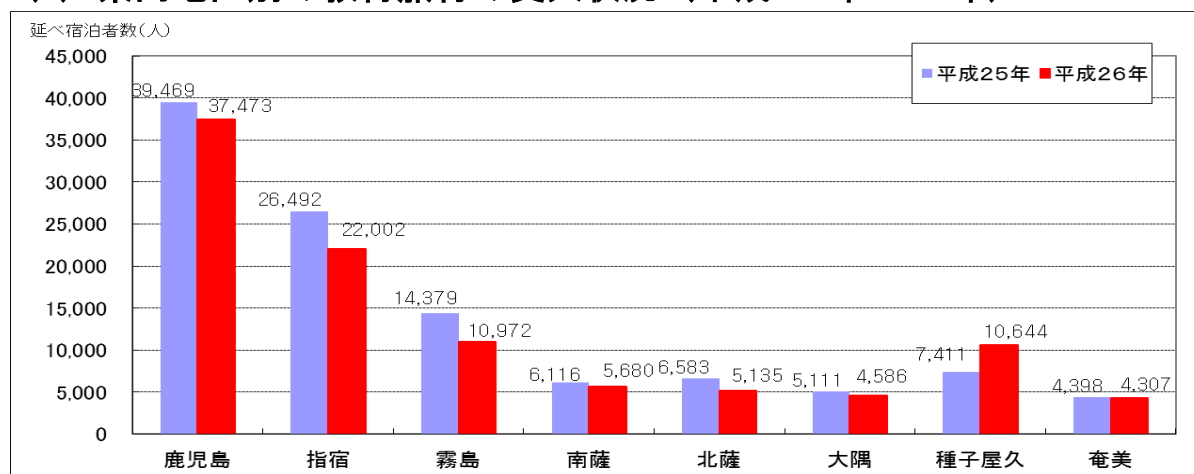


(2) 月別の教育旅行の受入状況（平成 25 年～平成 26 年）



4 教育旅行の受入状況

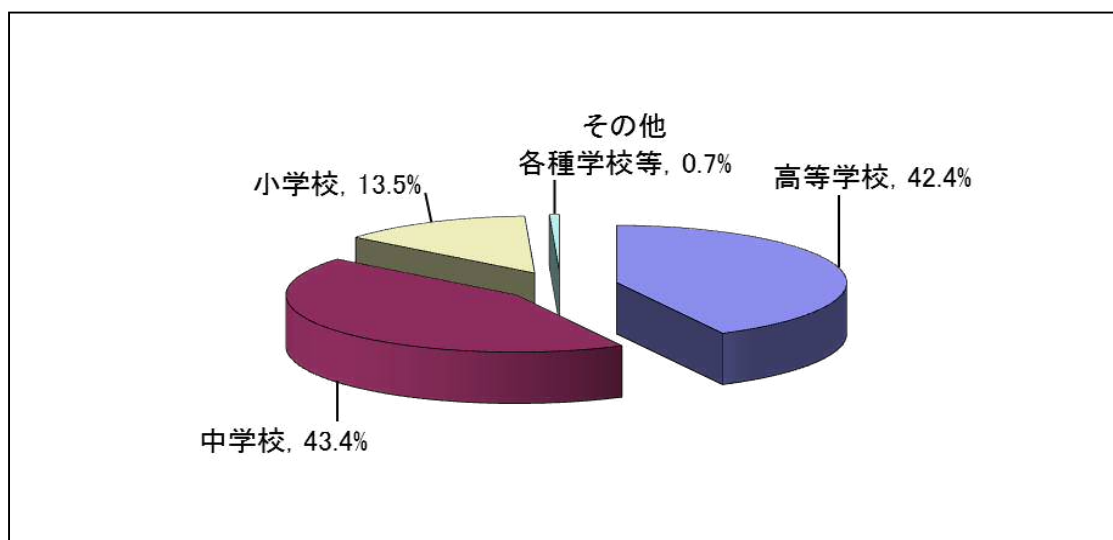
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況（平成 25 年～26 年）



	鹿児島	指宿	霧島	南薩	北薩	大隅	種子屋久	奄美	合計
平成25年	39,469	26,492	14,379	6,116	6,583	5,111	7,411	4,398	109,959
平成26年	37,473	22,002	10,972	5,680	5,135	4,586	10,644	4,307	100,799
前年比(増減率)	-5.1%	-16.9%	-23.7%	-7.1%	-22.0%	-10.3%	43.6%	-2.1%	-8.3%

単位：人

(4) 学校種別の構成比（平成 26 年）

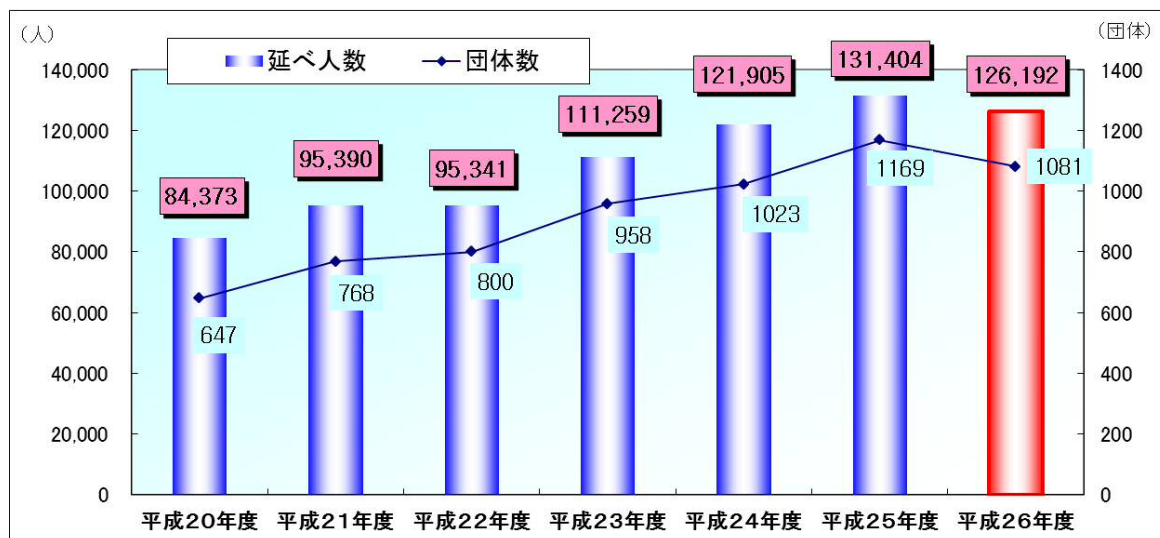


5 スポーツ合宿の受入状況

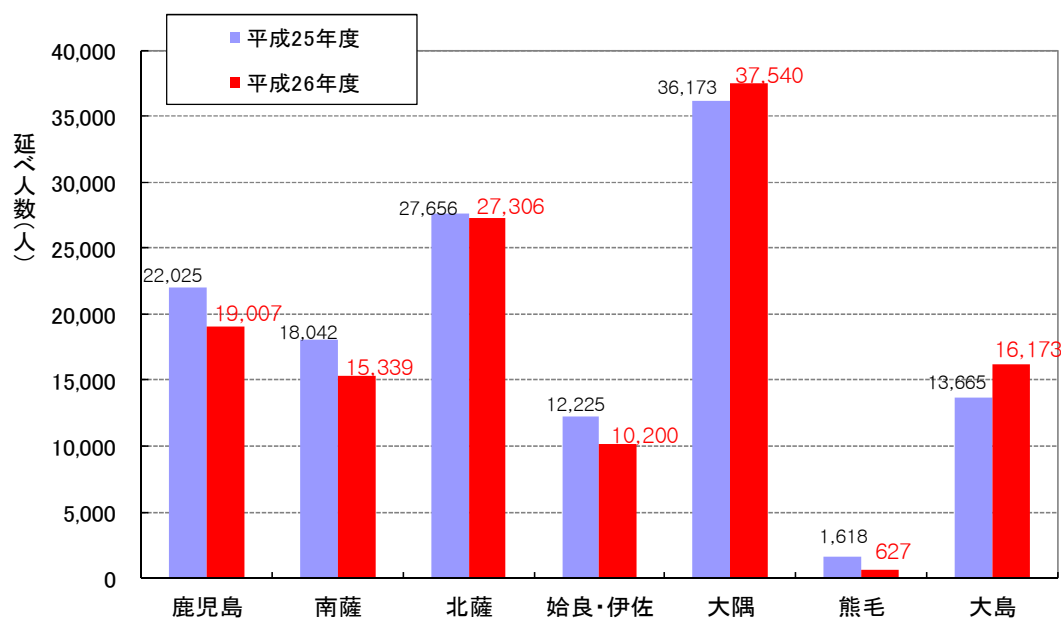
出典：「平成26年度スポーツキャンプ・合宿状況調査」

(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）

	平成26年度	平成25年度	対前年度比	
			増減数	増減率
延べ人数(人)	126,192	131,404	-5,212	-4.0%
実人数(人)	26,695	28,177	-1,482	-5.3%
団体数(団体)	1,081	1,169	-88	-7.5%



(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況

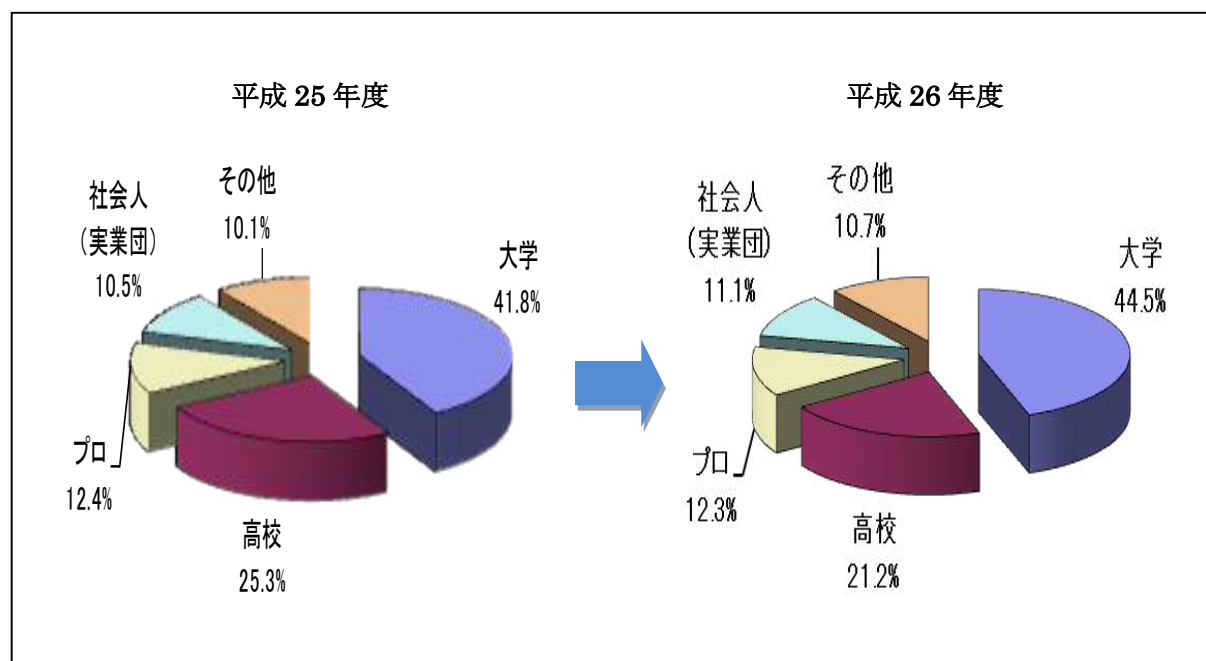


平成25年度	22,025	18,042	27,656	12,225	36,173	1,618	13,665	131,404
平成26年度	19,007	15,339	27,306	10,200	37,540	627	16,173	126,192
前年度比(増減率)	-13.7%	-15.0%	-1.3%	-16.6%	3.8%	-61.2%	18.4%	-4.0%

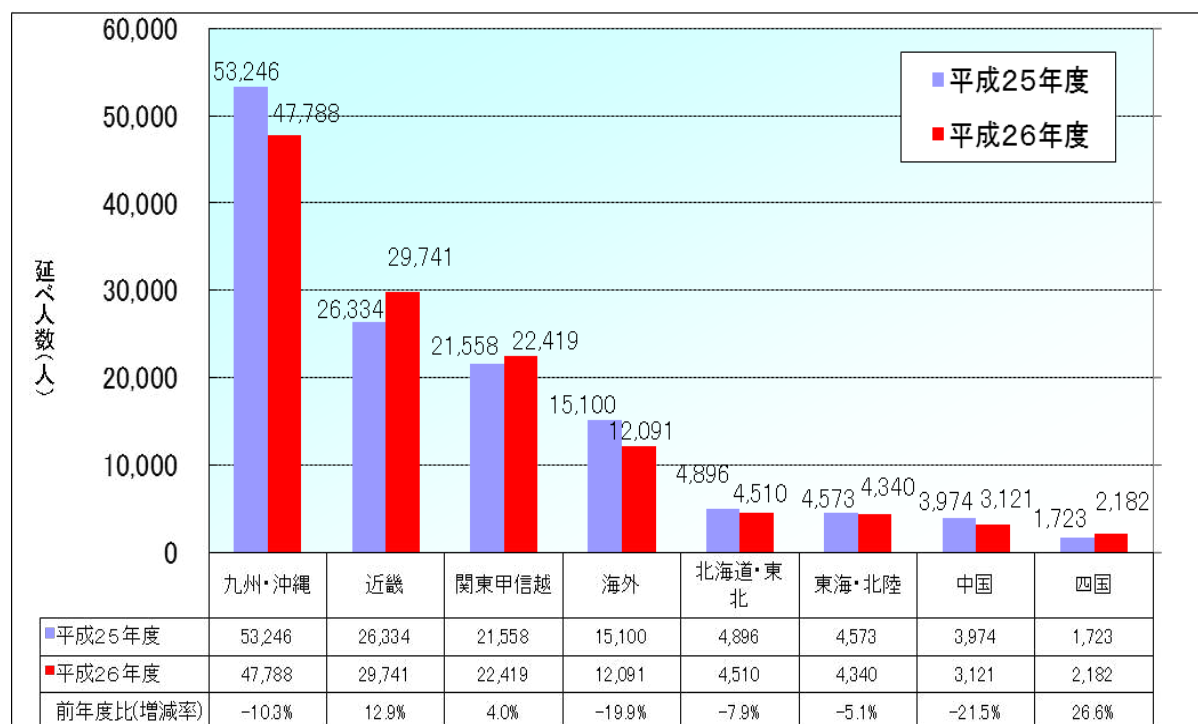
単位：人

5 スポーツ合宿の受入状況

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況（構成比）

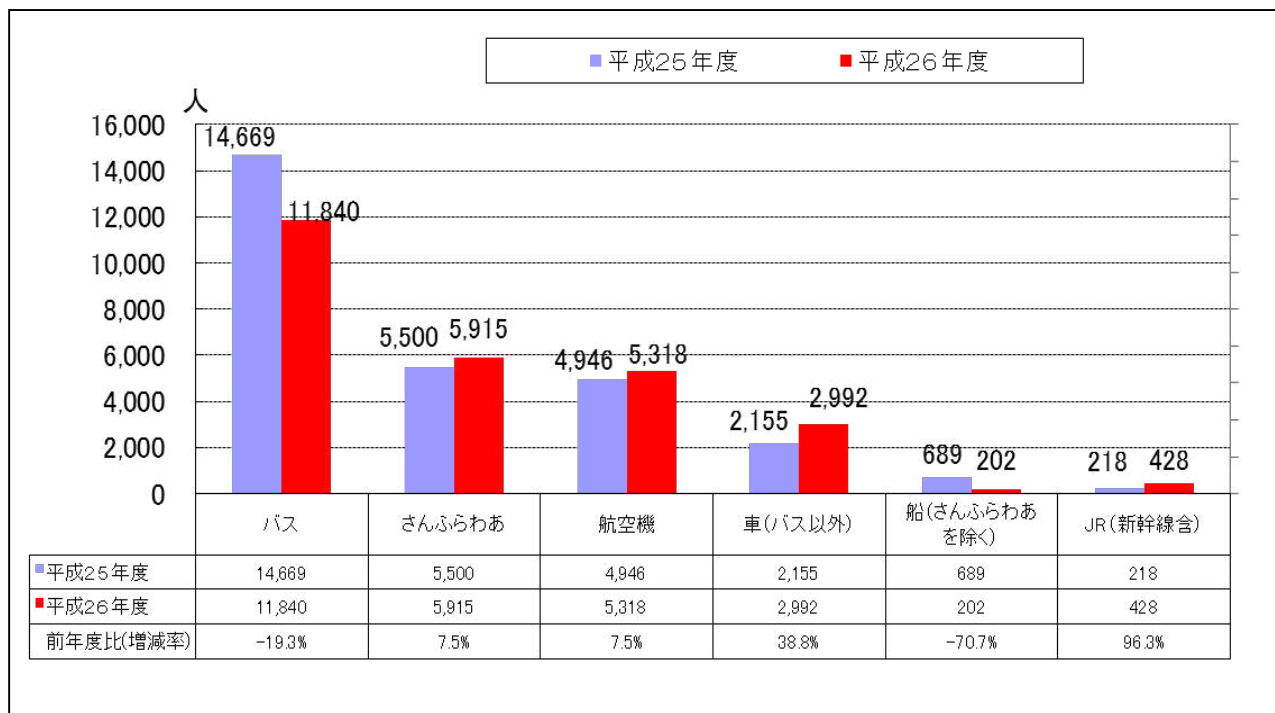


(4) 発地別の状況

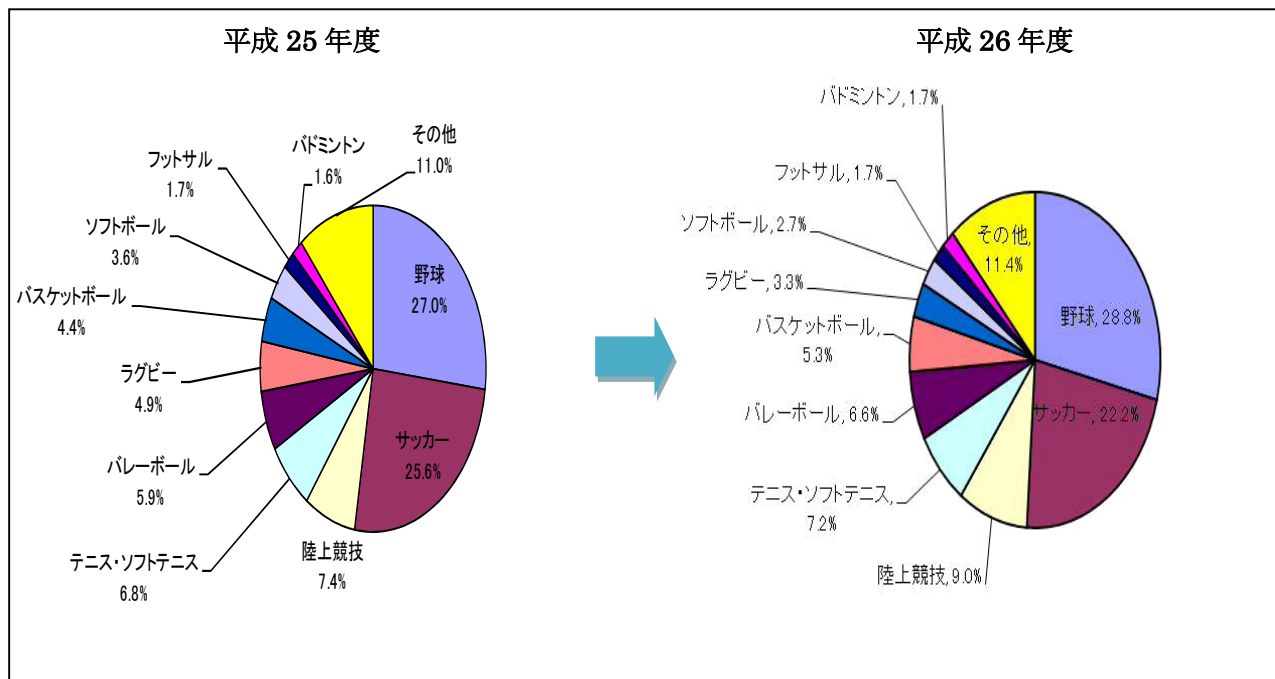


5 スポーツ合宿の受入状況

(5) 交通手段の状況



(6) 競技種目の状況



6 コンベンションの開催状況

【出典：県独自調査】

平成25年の県内のコンベンションの開催状況は、

- ・開催件数 223件（前年比9.0%減）
- ・参加者数 147,782人（前年比15.0%減） となった。

国際大会は、平成25年に国際火山学地球内部化学協会学術総会やIWCC国際女子サッカークラブ選手権大会が開催されたことなどにより、平成26年は開催件数及び参加者が反動減少したと考えられる。

	平成26年		平成25年		前年比(増減率)	
	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者
国際大会	1	170	8	11,505	-87.5%	-98.5%
全国大会	81	74,327	85	79,750	-4.7%	-6.8%
その他	141	73,285	152	82,530	-7.2%	-11.2%
合計	223	147,782	245	173,785	-9.0%	-15.0%

7 国際観光船受入状況

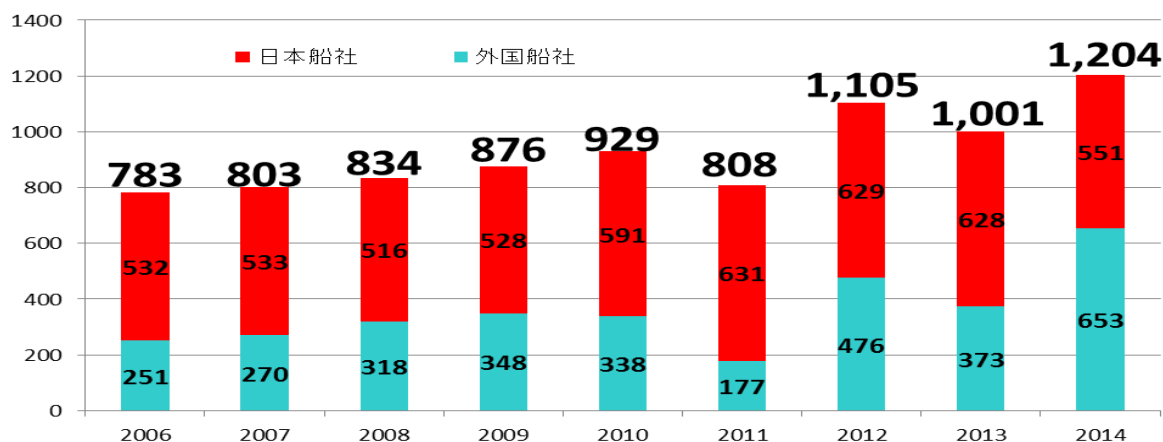
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：国土交通省港湾局】

2014年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は、

- ・外国船社のクルーズ船653回
- ・日本船社のクルーズ船551回

合計1,204回（前年比約20.3%増）となった。

図表1 2014年 我が国港湾へのクルーズ船寄港回数



図表2 2014年 港湾別のクルーズ船寄港回数（上位10港）

全体			外国船社			国内船社		
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	横浜	146	1	博多	99	1	横浜	98
2	博多	115	2	長崎	70	2	神戸	68
3	神戸	100	3	石垣	69	3	名古屋	27
4	那覇	80	4	那覇	68	4	博多	16
5	長崎	75	5	横浜	48	5	二見(父島)	15
6	石垣	73	6	神戸	32	6	東京	13
7	小樽	41	7	小樽	31	6	宮之浦(屋久島)	13
8	函館	36	8	鹿児島	29	8	那覇	12
9	鹿児島	33	9	函館	27	9	小樽	10
10	名古屋	30	10	釧路	21	9	仙台塩釜	10

※ 昨年鹿児島は全体で11位(22回)

図表3 2009～2014年 外国港湾別のクルーズ船寄港回数（上位5港）

	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
順位	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	那覇	50	博多	61	石垣	42	博多	85	石垣	59	博多	99
2	長崎	45	那覇	46	那覇	37	長崎	72	那覇	41	長崎	70
3	石垣	32	鹿児島	45	博多	26	那覇	47	長崎	35	石垣	69
4	博多	28	石垣	45	長崎	17	石垣	46	横浜	32	那覇	68
5	鹿児島	22	長崎	39	横浜	9	鹿児島	27	博多	19	横浜	48
	広島	22										
	神戸	22										

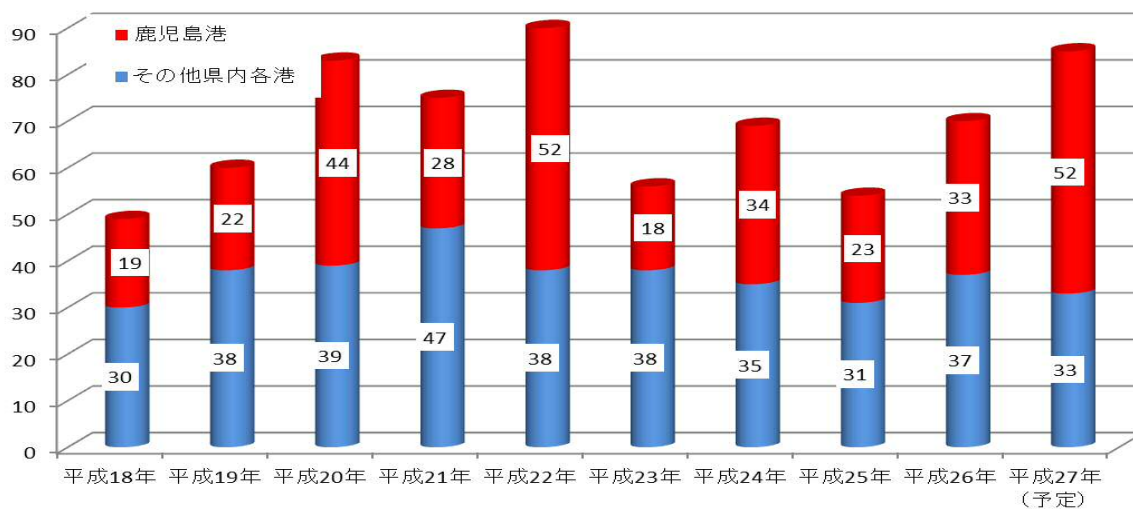
※鹿児島は6位(8回)

※鹿児島は8位(16回)

※鹿児島は8位(29回)

7 国際観光船受入状況

(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：県港湾空港課調べ】



県内各港(計)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (予定)
	49	60	83	75	90	56	69	54	70	85
鹿児島港	19	22	44	28	52	18	34	23	33	52
志布志港				1					1	
指宿港						1		1		
西之表港			2	4	2	2	1		2	2
宮之浦港	20	26	22	26	25	23	15	17	16	20
名瀬港	6	4	5	11	4	4	9	7	13	6
その他	4	8	10	5	7	8	10	6	5	5

※H27年9月1日現在

本物。 鹿児島県

平成 26 年 鹿児島県の観光の動向
～鹿児島県観光統計～

発行 平成 27 年 10 月

編集・発行 鹿児島県観光交流局観光課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL 099-286-3008

FAX 099-286-5580

E-mail k-kokunai@pref.kagoshima.lg.jp

[http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/
kanko-tokusan/kanko/kankotokei/](http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/)

観光かごしま

検索

